

社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団

令和 5 年度 事業報告書

令和5年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告

渋谷区の高齢化率は約19%で全国平均よりも低く推移しているが、65～74歳の前期高齢者数を75歳以上の後期高齢者数が上回っている。一方で、0歳児から5歳児の人口は減少傾向にある。当事業団の提供するサービスは、特養からこども園・保育園まで幅広い年齢層を対象としており、安定的・効率的な事業運営のため、今後さらに困難となる福祉人材・保育人材の確保に努めてきた。

一方で、令和5年度においても、各運営施設は依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきたが、職員相互の協力体制のもと組織的に対応し、着実に運営してきた。

令和5年5月には当該感染症の位置付けが「5類感染症」となり、これまでどおり感染を防ぐための対策を維持しつつも、特養での対面面会禁止の制限を解除するなど、各施設において利用者が過ごす環境をより良いものとするように努めてきた。

また、新たな事業として、ひがし健康プラザ及びびかなみの杜・渋谷の2つの地域包括支援センターを区から受託し、これまでの経験を活かし、地域に根差した相談窓口として安定的に運営している。これにより区内の全ての地域包括支援センターを事業団が運営することになり、区が進める重層的支援体制整備事業の一環としての障がいのある方等の新たな相談窓口として、全センターにおいて適切に対応している。

さらに、神宮前保育園にじをS C C千駄ヶ谷コミュニティセンターに移転し、新規施設として原宿こども園を開設するにあたり、新たに受託する病後児保育の実施を含めて、準備を進めた。

令和5年度に実施した事業の概要は、次のとおりである。

1 人材の確保と育成

(1) 職員の採用活動の強化

職員の採用及び育成を担当する部門と事業部門とが協力して職員の不足状況を的確に把握した上で、アクセスの多いハローワークとの連携や各種の募集ウェブサイトの掲載方法を工夫するなどと共に、事業団のホームページの採用欄を随時更新し、応募者にアピールすることで、人材の確保に努めた。

(2) 介護職員等の処遇改善

介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の各制度を活用し、職員の処遇改善を行った。

(3) 職員宿舍借上げ事業

認定こども園、保育園では、引き続き渋谷区の保育従事職員借上げ事業を活用し、令和5年度は、51人の職員が利用した。

(4) 職員の育成

主任ケアマネジャーの資格更新研修の受講費の補助をすることや、東社協や区などが実施する各種の研修に該当する職員を参加させた。

また、認定こども園・保育園では国外視察は引き続き中止としたが、国内視察として、令和6年2月、応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪問した。

2 施設及び事業の管理運営

施設及び事業の管理運営に当たっては、当事業団設立当初の「事業団設立趣意書」に基づき、次の基本方針を踏まえた事業執行を行い、区民福祉の増進を図った。

[基本方針]

- 1 利用者の人格、個性を尊重し、利用者のより快適な生活実現のためのサービス提供を行う。
- 2 地域に根差し、地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。
- 3 社会の変化や区民の要請に的確に対応できる柔軟な組織や運営体制の確立を図る。

[施設及び事業]

- 1 渋谷区社会福祉事業団本部事務局の運営
 - (1) 本部事務局
 - (2) こども未来課
 - (3) 施設課
- 2 「渋谷区あやめの苑・代々木」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ア ショートステイ事業
 - イ デイサービス事業
 - ウ 介護者教室事業
- 3 「渋谷区美竹の丘・しぶや」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) ショートステイ事業
- 4 母子生活支援施設の管理運営
- 5 障害福祉サービス事業所（生活介護）「渋谷区生活実習所つばさ」の管理運営
- 6 授産施設「渋谷区立幡ヶ谷授産場」の管理運営
- 7 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」の

管理運営

- 8 「渋谷区立新橋作業所」の管理運営
 - (1) 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
 - (2) 物品受託加工事業
- 9 認定こども園「神宮前あおぞらこども園」の管理運営
- 10 認定こども園「本町きらきらこども園」の管理運営
- 11 認定こども園「恵比寿のびのびこども園」の管理運営
- 12 認定こども園「本町そよかぜこども園」の管理運営
- 13 「神宮前保育園にじ」の管理運営
- 14 「西原保育園ゆめ」の管理運営
- 15 地域包括支援センターの管理運営
 - (1) 「渋谷区豊沢・新橋地域包括支援センター」の管理運営
 - (2) 「渋谷区恵比寿西二丁目地域包括支援センター」の管理運営
 - (3) 「渋谷区ひがし健康プラザ地域包括支援センター」の管理運営
 - (4) 「渋谷区かんなみの杜・渋谷地域包括支援センター」の管理運営
 - (5) 「渋谷区富ヶ谷・上原地域包括支援センター」の管理運営
 - (6) 「渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」の管理運営
 - (7) 「渋谷区あやめの苑・代々木地域包括支援センター」の管理運営
 - (8) 「渋谷区つばめの里・本町東地域包括支援センター」の管理運営
 - (9) 「渋谷区笹幡地域包括支援センター」の管理運営
 - (10) 「渋谷区千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の管理運営
 - (11) 「渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」の管理運営

◇ 事業団の職員配置（令和6年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	理学 療法士
正規職員	1人	2人	22人	19人	55人	87人	2人
(増減)	—	▲1人	1人	+1人	+9人	1人	—
非正規職員	—	—	—	5人	6人	43人	—
(増減)	—	—	—	▲1人	▲1人	+5人	—
	作業 療法士	保健師・ 看護師	栄養士	調理	母子 支援員	少年 指導員	生活 支援員
正規職員	2人	36人	2人	4人	3人	1人	9人
(増減)	—	+1人	—	—	—	—	—
非正規職員	—	4人	1人	2人	—	—	8人
(増減)	—	—	—	—	▲1人	—	+2人
	職業 指導員	施設管理	保育士	用務	心理療法 担当職員	合計	
正規職員	5人	1人	128人	—	—	379人	
(増減)	▲1人	▲2人	+6人	—	—	+15人	
非正規職員	7人	2人	38人	6人	—	122人	
(増減)	—	+1人	+2人	—	—	+7人	
(増減)					総合計	501人	
					(増減)	+22人	

＋：増加 ▲：減少 —：増減なし

※ 部長は、こども未来部長、あやめの苑・代々木施設長

※ 課長は、本部事務局総務課長、人事課長、保育支援担当課長、施設課長、あやめの苑・代々木参与、総務課長、事業課長、美竹の丘・しづや施設長、総務課長、事業課長、母子生活支援施設施設長、生活実習所つばさ施設長、幡ヶ谷授産場施設長（幡ヶ谷のぞみ作業所施設長兼務）、新橋作業所施設長、神宮前あおぞらこども園園長、本町きらきらこども園園長、恵比寿のびのびこども園園長、本町そよかぜこども園園長、神宮前保育園にじ園長、西原保育園ゆめ園長、地域包括ケア担当課長、包括事務調整担当課長

※ 正規職員は、給与規程の適用を受ける職員（特定職員、再任用職員、渋谷区からの派遣職員を含む。ただし、週40時間未満の職員は除く）（以下、同じ。）

※ 非正規職員には、再任用職員（週40時間未満勤務）、準職員、非常勤職員及び臨時職員を含む。（以下、同じ。）

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師・栄養士・調理・少年指導員・生活支援員・保育士・心理療法士）

◇ 事業団の各施設の定員（令和6年3月31日現在）

施設名	事業種類	定員数
あやめの苑・代々木	特別養護老人ホーム	70人
	ショートステイ	10人
	デイサービス（総合事業含む）	33人
美竹の丘・しぶや	特別養護老人ホーム	127人
	ショートステイ	28人
母子生活支援施設	母子生活支援施設	16世帯（52人）
生活実習所つばさ	障害福祉サービス事業所（生活介護）	20人
幡ヶ谷授産場	授産施設	30人
幡ヶ谷のぞみ作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	20人
新橋作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	25人
	物品受託加工事業	10人
神宮前あおぞらこども園	認定こども園	123人
本町きらきらこども園	認定こども園	123人
恵比寿のびのびこども園	認定こども園	118人
本町そよかぜこども園	認定こども園	121人
神宮前保育園にじ	保育園	45人
西原保育園ゆめ	保育園	106人

渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告

I 本部事務局

1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

次のとおり、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催した。

(1) 理事会の開催状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第115回	令和5年 5月24日	(報告事項) 1 職務執行状況について 2 令和4年度 会計監査人監査報告 3 令和4年度 監事監査報告 4 社会福祉充実計画について (議案) 1 令和4年度 事業報告 2 令和4年度 前期末支払資金残高の一部取崩 3 令和4年度 当期末繰越活動増減差額の一部積立 4 令和4年度 決算 5 会計監査契約の更新 6 役員等賠償責任保険契約について 7 定時評議員会の招集	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃 〃 〃
第116回	令和5年 6月6日	【決議の省略】 (議案) 1 役員推薦	原案どおり決定
第117回	令和5年 6月22日	(報告事項) 1 事業報告及び決算の承認 2 会計監査人の選任 (議案) 1 理事長、副理事長及び常務理事の選任 2 評議員選任・解任委員の選任	原案どおり決定 〃
第118回	令和6年 3月4日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員会の開催	原案どおり決定

第119回	令和6年 3月26日	(報告事項)	原案どおり決定 // // // // // // // //
		1 職務執行状況について	
		2 評議員の選任について	
		(議案)	
		1 理事の推薦	
		2 施設の長の選任	
		3 評議員選任・解任委員の選任	
		4 組織及び事務分掌規程の一部改正	
		5 定款の変更について	
		6 専任役員報酬等に関する規程の変更について	
7 令和5年度 補正予算			
8 令和6年度 事業計画			
9 令和6年度 予算			
10 人件費積立金の移行について			

(2) 評議員会の開催状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	開催日	議 題	備 考
第71回	令和5年 6月22日	(議案)	原案どおり決定 // // //
		1 役員を選任	
		2 会計監査人の選任	
		3 令和4年度 事業報告	
		4 令和4年度 決算	
		(報告事項)	
1 令和4年度 会計監査人監査報告			
2 令和4年度 監事監査報告			
3 社会福祉充実計画について			
第72回	令和6年 3月26日	(議案)	原案どおり決定 // // // //
		1 理事の選任	
		2 定款の変更について	
		3 専任役員報酬等に関する規程の変更について	
		4 令和6年度 事業計画	
5 令和6年度 予算			

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

開催なし

2 予算・決算等の調整及び予算の執行統制

3 職員の人事管理・福利厚生・研修

- (1) 職員の人事管理・給与管理を行った。
- (2) 職員の健康管理のための健康診断を実施した。
- (3) 職員の福利厚生のための共済会等の加入事務を行った。
- (4) 職員研修の受講の調整、啓発を行った。

4 渋谷区及び各施設との連絡調整

本部事務局は、各施設と業務委託者である渋谷区との連絡調整の役目を担い、施設や事業の目的を明確にし、各施設がより効果的な事業運営ができるよう側面から援助を行った。

5 こども園及び保育園に関する経営管理

こども未来課が各こども園・保育園を統括し、円滑なこども園・保育園運営の支援を行った。

6 本部事務局（総務課・人事課・こども未来課）の職員配置

(令和6年3月31日現在)

	事務局長	部長	課長	事務	合計
正規職員	1人	1人	3人	10人	15人

※ 部長は、こども未来部長（事務1人）

※ 課長は、総務課長（事務1人）、人事課長（事務1人）、保育支援担当課長（保育士1人）

※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務・保育士）

7 本部事務局の勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

II 施設課

1 複合施設「渋谷区美竹の丘・しぶや」の施設維持管理

施設全体の維持管理として、清掃、受付業務、設備保守管理、夜間警備、外構管理等を担当し、施設が安全で常に清潔であるように努めた。

令和5年度は、消防・防災訓練を2回実施した。

2 「シニア・いきいきコミュニティ・美竹の丘」の管理運営

多目的ホール、会議室、料理室、クラブ室、和室、集会室を有するコミュニティ施設の管理運営により、登録団体に文化・コミュニティ活動の場を提供した。

また、地域で運営されるコミュニティ委員会の活動支援に努めた。

3 施設課の職員配置（令和6年3月31日現在）

	館長 (施設課長)	事務	施設管理	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	3人	5人
非正規職員			2人	2人	

4 施設課の勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
事務 施設管理	平常	8:30	—————											17:15						
	遅番				12:30	—————											21:15			

施設課については、令和6年3月31日をもって、渋谷区からの渋谷区美竹の丘・しぶや施設維持管理等業務委託の受託を終了し、組織を廃止した。

渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告

渋谷区あやめの苑・代々木は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターが併設された地域の高齢者施設である。

特養及びショートステイ事業では、定員80床を5グループに分け、1グループ16人として、顔馴染みの職員で安心した環境で快適に生活できるように努めている。

また、デイサービス事業では、通所型サービスC（短期集中リハビリトレーニング）を実施し、要介護状態になることを予防するための機能強化に重点を置いたサービスを提供した。

令和5年度も新型コロナウイルスの影響を受けたが、クラスターを発生させることなく、感染拡大を極力防いで収束させることができた。

週単位で職員の定期PCR検査を実施する他、抗原検査も追加で実施し、平時のスクリーニングを徹底した。また、ショートステイ利用者についても、入所時や必要時に抗原検査を実施し利用前に水際で感染を発見するよう努めた。多床室は極めて感染が広がりやすいため、グループ単位のゾーニングの徹底、健康観察期間も利用者の場合は若干長めに経過をみる等、感染者が発生した場合にも、管理医・保健所等関係機関との連携の下、職員の機動的な対応により、事業運営をすることができた。

今年度、渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・デイサービス事業

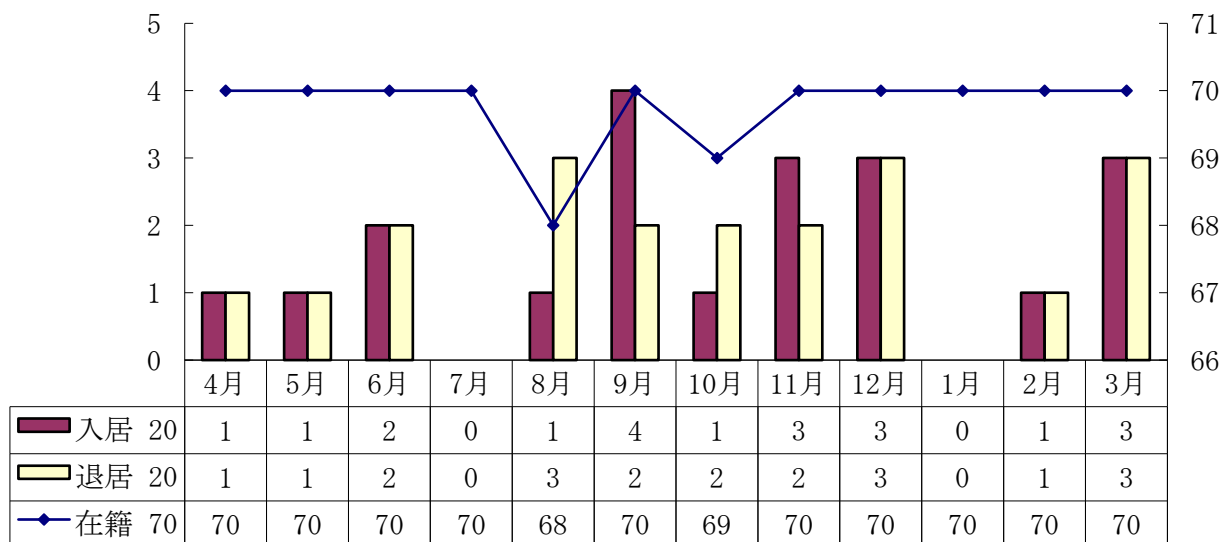
それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業 (定員70人)

ア 入退居の状況

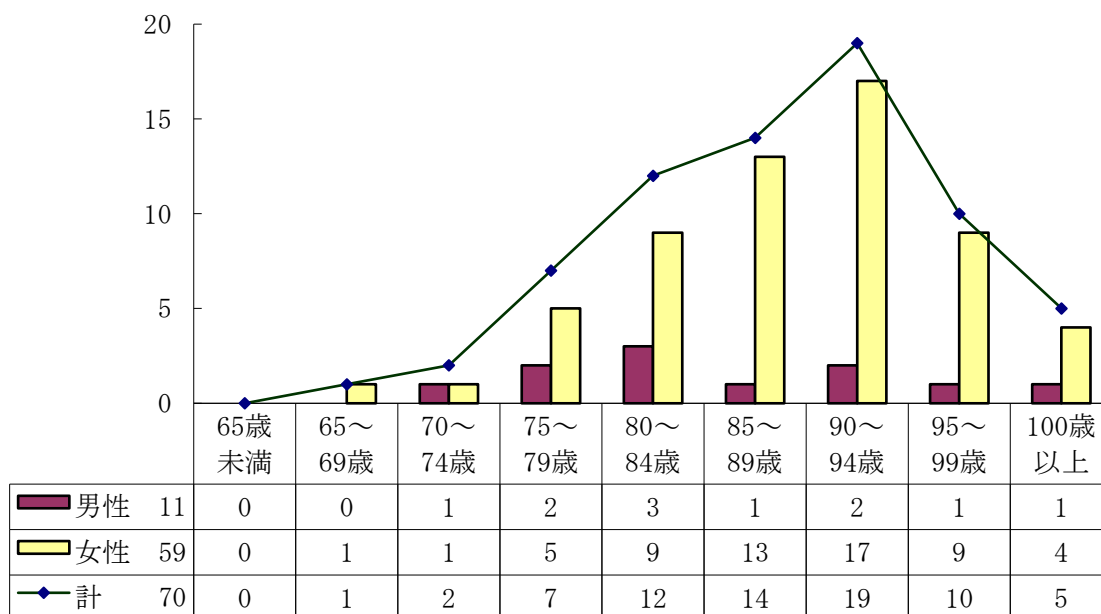
(単位:人)



※ 平均利用率 97.75% (97.3%) ()内は前年度

イ 入居者の年齢・性別 (令和6年3月31日現在)

(単位:人)

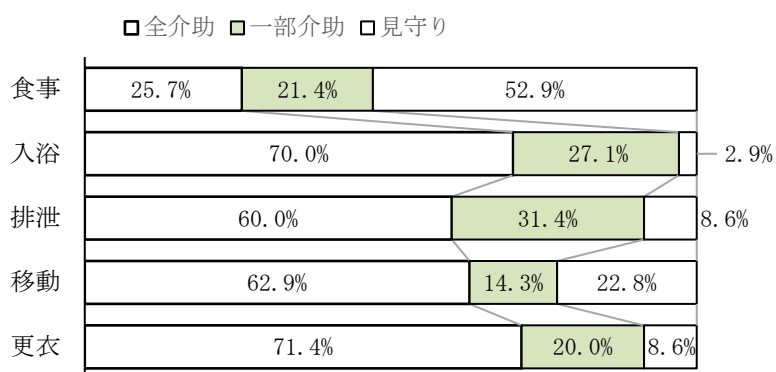


※ 平均年齢 全体 88.0歳 (88.0歳) 男性 85.8歳 (86.3歳) 女性 88.8歳 (88.4歳)

※ 最高齢者 男性 100歳 (99歳) 女性 105歳 (104歳) ()内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和6年3月31日現在）

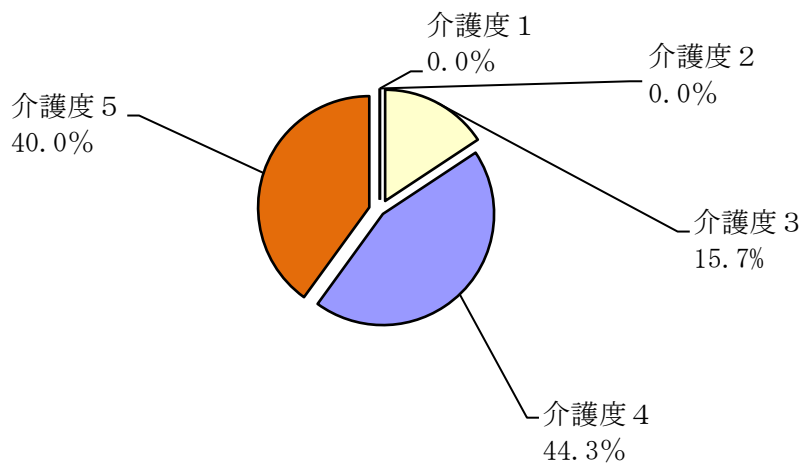
	全介助	一部介助	見守り
食 事	18人	15人	37人
入 浴	49人	19人	2人
排 泄	42人	22人	6人
移 動	44人	10人	16人
更 衣	50人	14人	6人



エ 入居者の要介護度（令和6年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
入居者数	0人	0人	11人	31人	28人	70人
	0.0%	0.0%	15.7%	44.3%	40.0%	100.0%

※ 平均介護度 4.2 度（4.3 度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	多発性ラクナ梗塞、多発性脳血管障害、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、パーキンソン病、脳梗塞、陳旧性ラクナ梗塞、脳動脈瘤、クモ膜下出血、外傷性クモ膜下出血、アカシジア、髄膜種、アテローム血栓脳梗塞、脳血管障害、後被殻出血、高次機能障害	34人
悪性新生物	乳癌、胃癌、大腸癌、肺癌、膀胱癌、前立腺癌、上行結腸癌、悪性軟部腫瘍、脳腫瘍	14人
精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症、うつ病、てんかん、症候性てんかん、統合失調症、双極性障害、小児麻痺、不眠症	53人
循環器系疾患	高血圧、慢性心不全、狭心症、心房細動、深部静脈血栓症、陳旧性心筋梗塞、大動脈弁狭窄症、僧帽弁狭窄症、頸動脈硬化症、動脈硬化症、下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症、横紋筋融解症、心不全、頻脈型心房細動、僧帽弁逆流症、腹部大動脈瘤	74人
呼吸器系疾患	肺Mac、気管支喘息、慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核、膿胸、気管支拡張症、胸水	10人
内分泌系疾患	糖尿病、高血糖症、高脂血症、脂質異常症、高コレステロール血症	27人
筋骨格系疾患	廃用性症候群、骨粗鬆症、変形性膝関節症、両側変形性股関節症、慢性関節リウマチ、変形脊椎症、顎関節脱臼、腰部脊椎管狭窄症、頸椎症性脊髄症、サルコペニア、痛風、脊柱管狭窄症	35人
消化器系疾患	便秘症、胆のう炎、B型肝炎、逆流性食道炎、胆管結石、食道裂孔ヘルニア、慢性胃炎、胆のう結石、横隔膜ヘルニア、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胆管炎、出血性内痔核、脱肛、胆石、胆嚢炎、原発性胆汁性胆管炎、難治性腹水、慢性下痢症、C型肝炎	28人
眼科系疾患	白内障、緑内障、網膜色素変性症	15人
婦人科系疾患	卵巣嚢腫、子宮筋腫	3人
泌尿器系疾患	腎機能障害、慢性腎不全、前立腺肥大、尿路感染症、腎盂腎炎、尿管結石、高尿酸血症、急性細菌性前立腺炎、腎盂嚢胞、過活動膀胱	16人
皮膚科系疾患	皮脂欠乏性湿疹、進行性指掌角皮症、蜂窩織炎、帯状疱疹	8人
自己免疫疾患	橋本病、甲状腺機能低下症、サルコイドーシス	7人
血液系疾患	貧血、敗血症、鉄欠乏性貧血	6人

(2) ショートステイ事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員：10人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	39人	35人	35人	32人	39人	33人
利用日数	291日	287日	265日	292日	326日	277日
平均利用日数	7.5日	8.2日	7.6日	9.1日	8.4日	8.4日

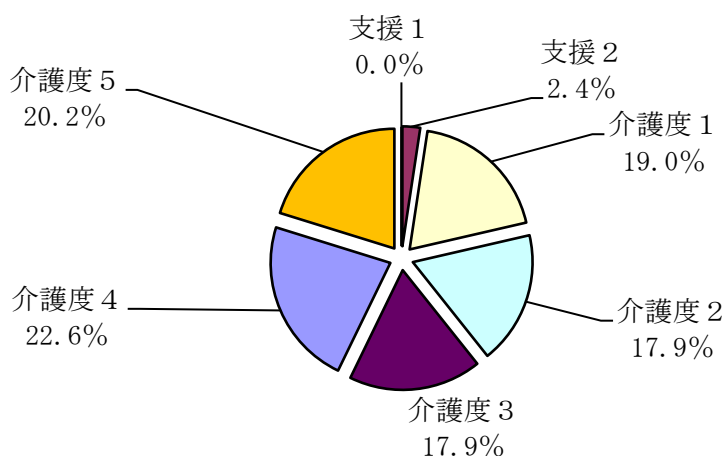
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	35人	38人	37人	35人	31人	35人	424人
利用日数	283日	289日	328日	304日	273日	309日	3,524日
平均利用日数	8.1日	7.6日	8.9日	8.7日	8.8日	8.8日	8.3日

※ 平均利用率 96.3% (87.9%) ()内は前年度

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	2人	16人	15人	15人	19人	17人	84人
	0.0%	2.4%	19.0%	17.9%	17.9%	22.6%	20.2%	100.0%

※ 平均介護度 3.1度 (3.1度) *要支援を除く。()内は前年度



(3) デイサービス事業

－通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）、介護予防支援事業－
ア デイサービス

(ア) 通所介護、介護予防・総合事業（国基準相当）、介護予防支援

◆ 月別利用状況（定員 25 人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数 a	383人	399人	392人	431人	439人	389人
利用者数 b	56人	72人	66人	67人	75人	86人
利用者数 c	10人	8人	8人	5人	4人	5人
計	449人	479人	466人	503人	518人	480人
利用率	71.8%	71.0%	71.7%	77.3%	76.7%	73.9%

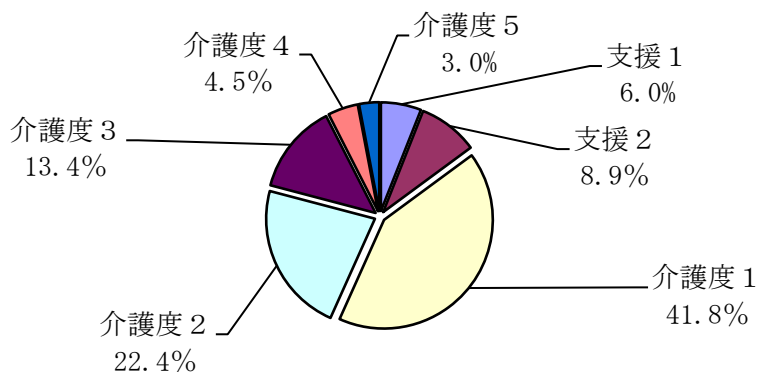
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数 a	384人	382人	370人	358人	376人	381人	4,684人
利用者数 b	58人	58人	59人	57人	56人	64人	774人
利用者数 c	4人	4人	4人	4人	4人	5人	65人
計	446人	444人	433人	419人	436人	450人	5,523人
利用率	68.6%	68.3%	72.2%	69.8%	69.8%	69.2%	71.7%

- ※ 平均利用率 71.7% (71.6%) ()内は前年度
- ※ 利用者数 a は、介護給付の利用者（要介護 1 から 5）
- ※ 利用者数 b は、総合事業（国基準相当）の利用者（要支援 1・2 及び事業対象者）
- ※ 利用者数 c は、介護予防支援事業利用者（要支援 1 及び事業対象者）
- ※ 年間稼働日は、308日（総合事業も同様）

◆ デイサービス利用者（利用者 a～c）の要介護度（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	支援 1	支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
利用者数	3人	10人	24人	16人	8人	8人	2人	71人
	6.0%	8.9%	41.8%	22.4%	13.4%	4.5%	3.0%	100.0%

- ※ 平均介護度 2.1 度 (1.9 度) * 要支援を除く。 ()内は前年度



(イ) 総合事業（区独自基準：通所サービスA）

◆ 月別利用状況（定員8人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数d	82人	79人	89人	66人	81人	67人
利 用 率	41.0%	36.6%	42.8%	31.7%	37.5%	32.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数d	80人	78人	70人	67人	57人	47人	863人
利 用 率	38.5%	37.5%	36.5%	34.9%	28.5%	22.6%	35.0%

※ 平均利用率 35.0% (37.3%) ()内は前年度

◆ デイサービス利用者（利用者d）の要介護度（令和6年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	3人	7人	6人	16人
	18.7%	43.8%	37.5%	100.0%

(ウ) 総合事業（通所型サービスC 短期集中リハビリトレーニング）

◆ 月別利用状況（定員10人／日）

	9月	10月	11月	計
利用者数e	20人	17人	18人	55人
利 用 率	28.6%	18.8%	22.5%	23.3%

※ 平均利用率 23.3% (32.9%) ()内は前年度

◆ デイサービス利用者（利用者e）の要介護度（令和6年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	2人	2人	2人	6人
	33.3%	33.3%	33.4%	100.0%

イ 介護者教室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、屋外で行えるものを企画したが、参加者はいなかった。

- ・テーマ…「車イスの種類と操作方法」
- ・開催日…6月17日、9月16日、12月16日、3月23日

ウ デイサービス家族懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、アンケート配布時に相談は随時受け付けている旨を記入した。

2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

	行事名	実施内容	摘要
4月	誕生会 世界・日本の郷土食 お花見	お祝いと会食 朴葉寿司（岐阜県）	
5月	誕生会 世界・日本の郷土食 端午の節句昼食会 菖蒲湯 買い物サロン	お祝いと会食 ガパオ風ライス（タイ） 各フロアに鯉のぼりを飾り、会食	
6月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 ぼく飯、静岡おでん（静岡県） フルーツバイキング	
7月	誕生会 世界・日本の郷土食 七夕夕食会 お盆行事（各階ベランダ）	お祝いと会食 バエリア（スペイン） 各フロアに七夕を飾り、会食 迎え火、送り火	
8月	誕生会 世界・日本の郷土食	お祝いと会食 じゃじゃ麺（岩手県）	
9月	誕生会 世界・日本の郷土食 敬老会 スイーツビュッフェ お神輿	お祝いと会食 バターチキンカレー（インド） 敬老のお祝い プチケーキ、ババロア、ゼリー	
10月	誕生会 世界・日本の郷土食 秋まつり	お祝いと会食 ひじきご飯、とり天（大分県） ゲーム、模擬店	
11月	誕生会 世界・日本の郷土食 和菓子を楽しむ会 買い物サロン	お祝いと会食 牛肉のクリーム煮（フランス） 練り切り、栗プリン	
12月	誕生会 世界・日本の郷土食 餅つき ゆず湯 クリスマス会	お祝いと会食 焼き鯖のちらし寿司（茨城県） ケーキやお菓子を楽しむ	
1月	誕生会 世界・日本の郷土食 新年祝賀会 初詣	お祝いと会食 スパゲティカルボナーラ（イタリア） グループ毎におせち料理会食、祝賀 平田神社参拝	

2月	誕生会 世界・日本の郷土食 節分 午後のお茶会	お祝いと会食 しらす丼（神奈川県） ケーキ、プリン	
3月	誕生会 世界・日本の郷土食 雛祭り 阿波踊り	お祝いと会食 鮭としめじのクリームシチュー（フィンランド） フロアで雛人形を飾り、会食	

(2) クラブ活動実施状況

以下のクラブ活動の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

クラブ名	実施日等	実施内容
音楽クラブ	第4水曜日	ハーモニカ等の伴奏による合唱（唱歌・季節の歌・なつメロ等）楽器演奏
手工芸クラブ	毎月1回	毛糸を用いた共同作品
おしゃれクラブ	毎月1回	お化粧品、マニキュア
クラブトントン	毎月3回	歌、体操、レクリエーション
クラシックコンサート	毎月1回	山口音楽教室（バイオリン、ピアノ等）
映画上映会	毎月1回	懐かしの邦画
アロママッサージ	毎月1回	ハンドマッサージ
やさしいヨガ	毎月2回	ヨガ

(3) ボランティアの受入れ状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止としたが、退職した職員による傾聴ボランティアを受け入れた。また、敷地内の植栽の剪定ボランティアを週1回受け入れた。

(4) 実習生の受入れ状況

[実人員] [延人員]

① 看護学生

8人

8人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 90日
- ② 従事医勤務日数 96日
 - (内訳) 内科医 (30日)
 - 皮膚科 (12日)
 - 眼科 (6日)
 - 精神科医 (24日)
 - 整形外科 (24日)
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 21日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	あやめの苑の防災対策の確認	あやめの苑・代々木防災対策内容確認
5月	初期消火訓練	消火器の取扱い説明と放水訓練
6月	AED使用訓練	AEDの使用方法を学ぶ
7月	通報、機器の取扱訓練	複合火災受信機、火災報知器の取扱いを学ぶ
8月	避難訓練 (コロナ感染により中止)	
9月	避難訓練 (コロナ感染により中止)	
10月	夜間火災想定訓練	夜間時の火災報知設備の作動と音響停止操作方法を学ぶ
11月	避難誘導訓練	入居者をシーツで包み、ベッドから窓際へ移動させる方法を学ぶ
12月	通報訓練	緊急館内放送と消防署への通報を学ぶ
1月	緊急時安否確認メール送受信	緊急時職員の安否確認訓練
2月	AED及びさすまた使用訓練	AED及びさすまたの使用方法を学ぶ
3月	合同防災訓練 (総合避難訓練)	代々木三、四丁目町会、地元消防団と連携して、渋谷消防署(代々木出張所)の立ち会いのもと、火災時の初期消火並びに避難誘導訓練を実施。起震車体験も実施

3 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	栄養士
正規職員	1人	3人	2人	4人	30人	1人
非正規職員					16人	
	調理	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	4人	1人	1人	7人	54人	73人
非正規職員	2人			1人	19人	

- ※ 施設長は、介護支援専門員1人
- ※ 課長は、参与（事務）、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各1人
- ※ 正規職員のうち介護士1人、看護師1人が育休取得中
- ※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護士・看護師・調理）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 特別養護老人ホーム及びショートステイ担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23														
介護士	早番						7:00	—————																15:45															
	平常							8:00	—————																16:45														
	遅番									10:15	—————																19:00												
	深遅											13:00	—————																21:45										
	夜勤	—————																							21:30	—————													
看護師	平常							8:30	—————																17:15														
	夜勤	—————																																					
調理員	早番				6:00	—————																14:45																	
	平常							8:30	—————																17:15														
	遅番									10:45	—————																19:30												

(2) デイサービス担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23														
介護士	平常							8:30	—————																17:15														
看護師	遅番									9:15	—————																18:00												

(3) その他の職員

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23				
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30	—————										17:15									

5 職員研修

職 種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	B C P 策定講座（感染症編・自然災害編）、デイサービスの強みづくり、稼働率 70%以下でも黒字のデイがやっていること、特養分科会（介護報酬改定について）	5 人	5 日
介護支援専門員	介護支援専門員専門研修、shibuya かいごセミナー（苦情対応を学ぶ）、施設ケアマネジメントの本質	4 人	10 日
介護士	福祉用具の使い方、生産性向上セミナー（介護現場の業務改善）、スキルアップ研修（医療的知識編）、介護福祉実習指導者講習会、デイサービス研修（制度改正と報酬改定について）、認知症介護基礎研修、たんの吸引等の実施のための研修	19 人	63 日
看護師	口腔ケア基本と実践、感染対策リーダー養成講座、たんの吸引指導者講習研修	3 人	4 日
作業療法士 理学療法士	床ずれ対策WEBセミナー（ポジショニングの実践・座るを快適に）、生産性向上セミナー（介護現場の業務改善）	4 人	4 日
事務	B C P 実践講座	1 人	1 日
管理栄養士	栄養ケアマネジメント研修	1 人	1 日
全職員	感染症対応（ノロ）、感染症対応（コロナ）、全身清拭、陰部洗浄、服薬手順、適切なケアを考える、看取り、手洗いチェック（感染防止）、倫理研修、記録について、身体拘束適正化、虐待予防（不適切ケア）、事故防止、褥瘡、事故防止（福祉用具活用）、サービスマナー、B C P	284 人	27 日

※ 地域包括支援センターの職員研修については、別途記載

渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告

渋谷区美竹の丘・しぶやは、渋谷区で初めて開設された「ユニットケア」による特別養護老人ホームである。全室を入居者のプライバシーに配慮した個室とし、7～8室の個室と食事や機能訓練を行うリビングを1つの生活単位（ユニット）として、小人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行っている。

今年度も感染の拡大防止のため、職員の定期的なPCR検査を実施すると共に、感染者が発生した場合にも、管理医・保健所等関係機関との連携の下、職員の的確かつ迅速な対応により、事業運営をすることができた。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ ショートステイ事業

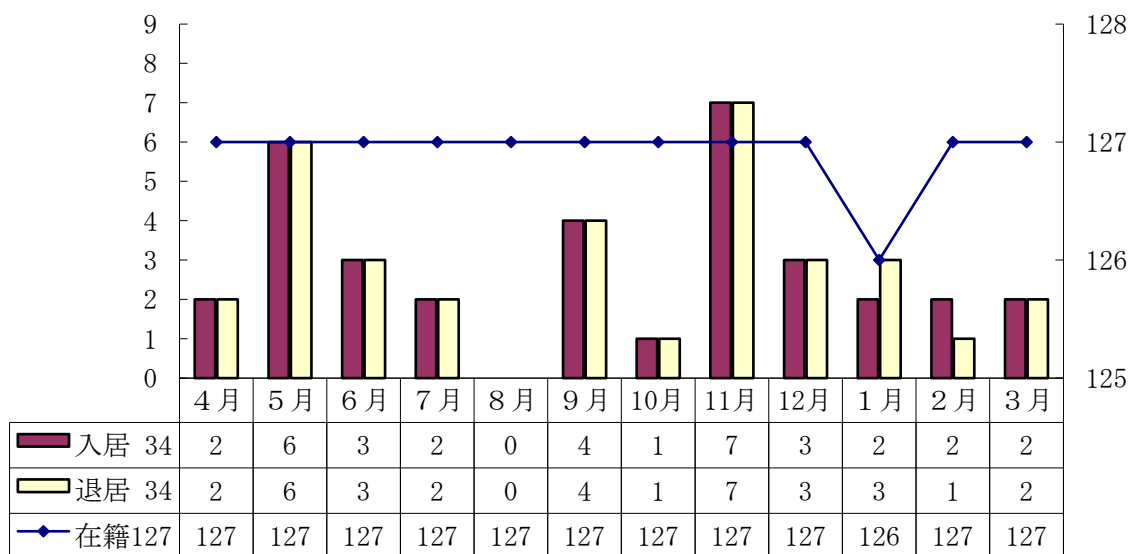
また、それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員127人）

ア 入退居の状況

(単位：人)

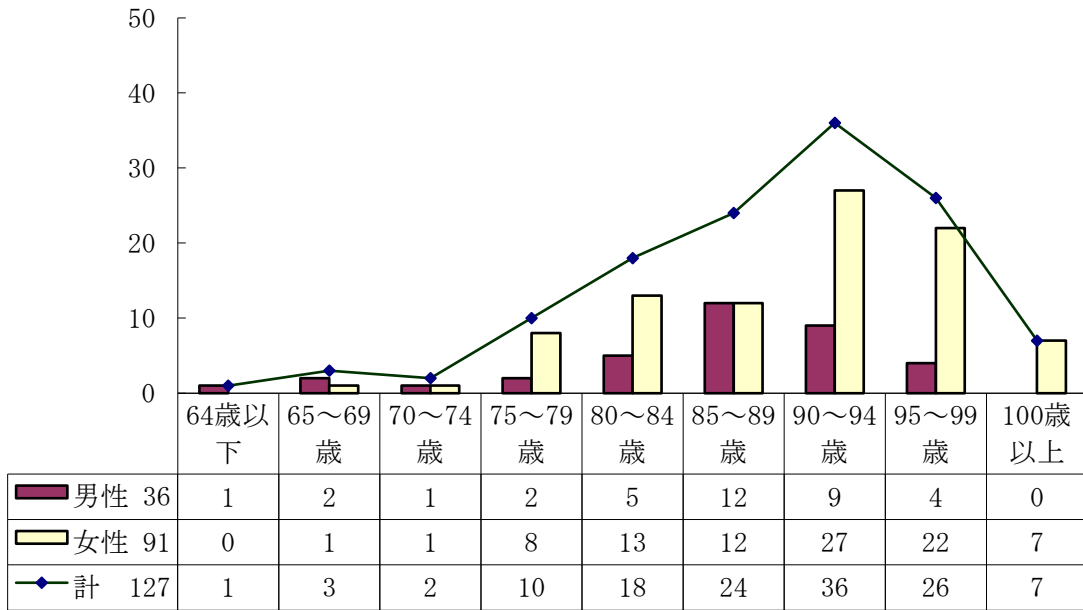


※ 平均利用率 96.2% (95.1%) ()内は前年度

※ 措置入所1人含む。

イ 入居者の年齢・性別（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

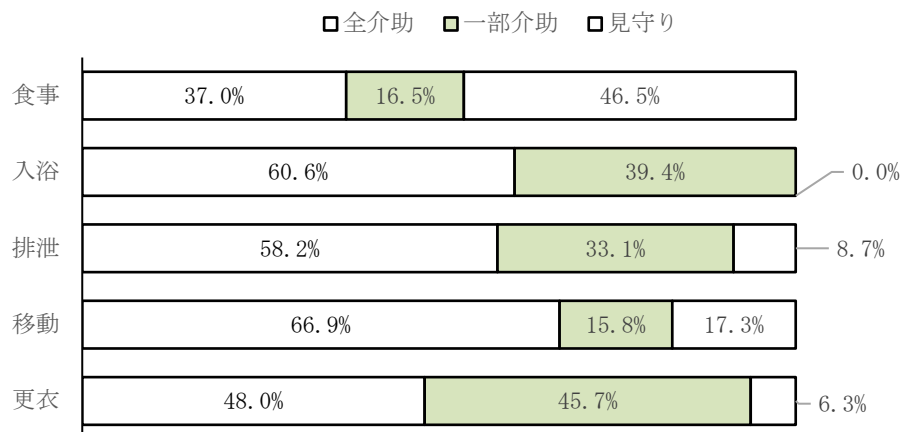


※ 平均年齢 全体89.2歳（88.9歳）男性85.7歳（85.3歳）女性90.6歳（90.2歳）

※ 最高齢者 男性99歳（97歳）女性105歳（106歳）（ ）内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和6年3月31日現在）

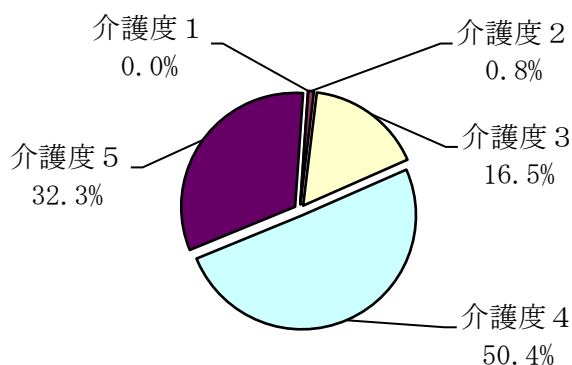
	全介助	一部介助	見守り
食 事	47人	21人	59人
入 浴	77人	50人	0人
排 泄	74人	42人	11人
移 動	85人	20人	22人
更 衣	61人	58人	8人



エ 入居者の要介護度（令和6年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	1人	21人	64人	41人	127人
	0.0%	0.8%	16.5%	50.4%	32.3%	100.0%

※ 平均介護度 4.1度（4.2度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞、脳出血後遺症、慢性硬膜下血腫、ラクナ梗塞、脳梗塞後遺症、水頭症、外傷性硬膜下血種、高次機能障害、てんかん、症候性てんかん、不随運動症、奇形性脳梗塞症、脳性麻痺、硬膜下水腫	52人
悪性新生物	乳癌、胃癌、大腸癌、膀胱腫瘍、横行結腸癌、直腸癌、甲状腺癌、胆管癌、咽頭腫瘍、下顎腺癌、多発性骨髄腫、皮膚癌、肺癌	24人
精神神経系疾患	認知症、うつ病、躁うつ病、抑うつ病、パーキンソン病、薬剤パーキンソン病、てんかん、症候性てんかん、統合失調症、神経核内封入体病、小児麻痺、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、不眠症、アルコール依存症	90人
循環器系疾患	高血圧、狭心症、期外収縮、慢性心不全、心房細動、深部静脈血栓症、不整脈、発作心房細動、虚血性心疾患、陳旧性心筋梗塞、塞栓梗塞、鉄欠乏性貧血、下肢浮腫、微小血管症、下肢静脈瘤、完全房室ブロック腹部大動脈瘤、大動脈血栓症	70人
呼吸器系疾患	陳旧性肺結核、喘息、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全、咳喘息、胸水貯留、低酸素血症、肺野異常陰影、間質性肺炎、肺塞栓症	17人
内分泌系疾患	糖尿病、脂質異常症、高脂血症、高コレステロール血症、甲状腺機能低下症、高尿酸血症、バセドウ病、低ナトリウム血症、低カリウム血症	35人

筋骨格系疾患	大腿骨頸部骨折後遺症、腰痛、変形性膝関節炎、変形性脊椎症等、骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性股関節症、腰椎圧迫骨折、胸椎圧迫骨折、脊柱管狭窄症、人工膝関節置換術後、人口骨頭置換術後、変形性胸椎症、ヘーバーデン結節、脊椎損傷、椎間板ヘルニア、足根骨折、上腕骨顆上骨折、滑り症、胸腰椎化膿性椎間板炎、股関節炎	63人
消化器系疾患	消化管癌術後、胆石、肝障害、胆嚢炎、C型肝炎人工肛門、痔瘻、脱肛、慢性胃炎、便秘症、総胆管結石症、大腸ポリープ、逆流性食道炎、下降結腸憩室炎、胆管委縮、外痔核、内痔核、直腸脱、胃瘻造設、大腸癌、肝硬変、膵嚢胞	40人
眼科系疾患	白内障、緑内障、眼瞼下垂、眼瞼痙攣、眼底出血	10人
泌尿器系疾患	膀胱炎、前立腺肥大、腎結石、腎機能障害、過活動膀胱、慢性腎不全、尿閉、膀胱結石、尿管ステント、前立腺癌、慢性膀胱炎、バルン留置	26人
皮膚科系疾患	白癬、爪白癬、帯状疱疹、乾癬、皮膚癌、うつ滞皮膚炎、薬疹、丹毒、脂漏性湿疹、疣贅	12人
婦人科系疾患	子宮筋腫、子宮腫瘍、子宮頸癌、卵巣嚢腫	10人
自己免疫疾患	シェーグレン症候群、橋本病	2人

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員28人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	106人	119人	114人	117人	122人	114人
利用日数	824日	851日	797日	884日	878日	836日
平均利用日数	7.8日	7.2日	7.0日	7.6日	7.2日	7.3日

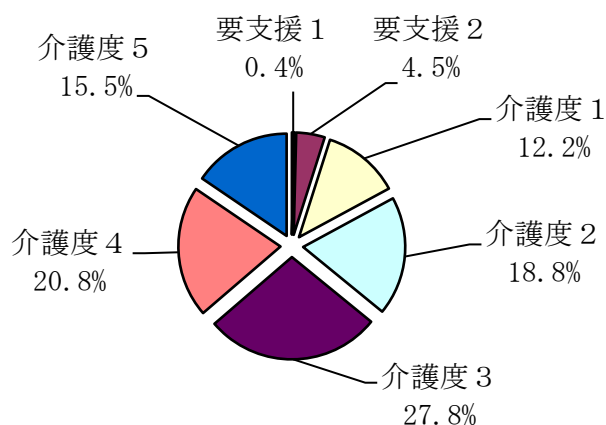
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	119人	116人	106人	113人	107人	114人	1,367人
利用日数	874日	844日	861日	837日	797日	877日	10,160日
平均利用日数	7.3日	7.3日	8.1日	7.4日	7.4日	7.7日	7.4日

※ 平均利用率 99.1% (94.1%) ()内は前年度

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	1人	11人	30人	46人	68人	51人	38人	245人
	0.4%	4.5%	12.2%	18.8%	27.8%	20.8%	15.5%	100.0%

※ 平均介護度 3.1度（3.0度） *要支援を除く。（ ）内は前年度



2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

ア 全体実施

	行事名	実施内容
9月	敬老会	各階入居者の代表が（計20人）集合して開催し、区長・区議会議長によるお祝いの手紙と花束等を施設長から贈呈し、記念撮影を行った。
10月	美竹まつり	3・4・5階、6・8階、7・9階に分かれて日程をずらして開催した。感染症に配慮して3密を避けた形で、模擬店やゲームコーナー、記念撮影コーナーを設置して、お祭りの雰囲気を楽しんでいただいた。
3月	春まつり	各階で生花を飾り、春らしい写真を撮影すると共に、春にちなんだお菓子を提供し、楽しんでいただいた。

イ 各ユニット実施

各ユニットでは、年間を通して次のような行事を実施した。

◆ 入居者に関するもの

誕生日会、100歳のお祝い会、工作

◆ 食に関するもの

お菓子づくり、出前、ランチ会、茶話会、かき氷、果物を楽しむ会

◆ 季節に関するもの

菖蒲湯、母の日、父の日、七夕、納涼行事、暑気払い、スイカ割り、お月見、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、ゆず湯、クリスマス、正月行事、書初め、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り

◆ 外出に関するもの

近隣の散歩と買い物（宮下公園）

(2) クラブ活動実施状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

クラブ名	実施日等	実施内容	延参加人数
園芸クラブ	3か月に1回	花苗の手入れと植え替え	10～15人
書道クラブ	月1回	書道	中止
生け花クラブ	月1回	生け花	中止

(3) ボランティアによる行事の開催状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

活動名	内容	ボランティアの延参加人数
歌唱（歌謡曲・唱歌等）	カラオケと参加者の合唱	12人
朗読	詩や絵本、紙芝居等の朗読	中止
ワンポイント・メイク及びハンドマッサージ	お化粧品と手指・腕・足等の簡単なマッサージ	中止
ヘアカット	6階美容室において、ヘアカット・シャンプー・ブローを行う	96人
動物とふれあう会	犬や猫の小動物とのふれあい	中止
傾聴（会話）	個人またはグループによる会話や傾聴	中止
舞踊リハビリ（舞リハ）	日本舞踊を取入れた主に上半身の運動	中止
折り紙	創作折り紙を楽しむ	中止
合 計		108人

(4) 施設内のイベント活動

活動名	内容	回数	延参加人数
歌唱&楽器演奏等	歌の披露（オペラ）	1回	40人

保育園等との交流会	園の行事（敬老会、クリスマス会、音楽会）に参加、移動水族館	4回	50人
美竹まつり、敬老会	模擬店、ゲームコーナー等の開催	2回	250人
合 計		2回	340人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 187日
- ② 従事医勤務日数 100日
- (内訳) 内科医 (24日)
- 皮膚科 (28日)
- 精神科 (24日)
- 整形外科 (24日)
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 20日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	防災研修・訓練	6階で実施。警備員不在時の火災警報発報時の対応について、消防設備通報機器の取り扱いについて説明した。
5月	防災研修・訓練	4階で実施。消火器、消火栓の設置場所の説明を実施。前月に続き火災警報が発砲された場合の各種機器の説明及び対応方法について説明した。
6月	合同消防訓練	8階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施） 水消火器を使用した消火訓練、ポータブル発電機の使用方法について説明した。
7月	防災研修・訓練	4階で実施。6月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
8月	防災研修・訓練	7階で実施。不適切箇所が無いかなど、場内パトロールを実施し、避難通路に障害物等がないか点検を行った。また、火災の発生原因（トラッキング現象）となりうる、コンセント周りの点検を実施。（清掃及び緩みのチェック）免震構造の説明、消防設備の取り扱いについて説明を実施。備蓄品の保管場所の周知を実施。
9月	防災研修・訓練	6階で実施。消火器、消火栓の設置場所の確認及び取り扱いについて説明を行った。免震構造の説明、消防設備の取り扱いについて説明を実施。
10月	合同消防訓練	5階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施） 水消火器を使用した消火訓練、ポータブル発電機の使用方法を説明した。
11月	防災研修・訓練	3階で実施。10月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）

12月	防災研修・訓練 夜間停電発生時の対応訓練	9階で実施。夜間停電を想定した初期対応訓練を実施。非常用電源作動時の照明の状況、停電時に使用できるコンセント位置の確認及びポータブル発電機の使用方法を説明した。
1月	防災研修・訓練	3階で実施。火災発生時の初動について、参加者全員で防災クイズを行い、適切な対応を学んだ。消火器、消火栓位置の確認、消火器の使用方法について説明を実施した。
2月	防災研修・訓練	5階で実施。消防隊員による心肺蘇生の動画鑑賞を行い、AEDの取り扱い方法について説明した。
3月	防災研修・訓練	4階で実施。首都直下地震発生時の被害想定、災害への備えについて、東京防災ブックの読み合わせを実施した。

3 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	
正規職員	1人	2人	3人	5人	57人	
非正規職員			1人		27人	
	栄養士	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	9人	80人	109人
非正規職員				1人	29人	

- ※ 施設長は、介護支援専門員1人
- ※ 課長は、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各1人
- ※ 正規職員のうち介護士1人が育休取得中
- ※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 介護士

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23												
介護士	早番1							7:00	—————															15:45													
	早番2								8:00	—————															16:45												
	日勤1									9:15	—————															18:00											
	日勤2										10:15	—————															19:00										
	遅番1											11:15	—————															20:00									
	遅番2												12:15	—————															21:00								
	遅番3													13:15	—————															22:00							
	夜勤	—————							7:10															21:50	—————												

(2) 看護師

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23				
看護師	日勤							8:30	—————										17:15										
	夜勤	—————											9:30					16:30	—————										

(3) その他

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23					
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30	—————										17:15										

5 職員研修

福祉・保健・医療の連携を図るため、介護に関する研修等に参加し、自己研鑽に努めた。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小人数での実施や書面での研修を行った。

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	組織をより良くするための環境づくり研修、BCP策定研修	2人	2日
介護支援専門員	生活相談員リスクマネジメント研修会、ソーシャルワーク研修会、高齢者権利擁護研修、東京都認定調査員現任研修、介護報酬改定、東京都介護支援専門員研修	1人	1日
介護士	認知症ケアに対する知識向上、介護施設における安全対策担当者養成研修、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修、アンガーマネジメント研修、高齢者福祉施設における中堅職員のための能力開発研修会、福祉現場で活かすサービスを学ぶセミナー、介護職員スキルアップ研修、東京都認知症介護実践者研修、リスクマネジメント研修、ユニットリーダー研修、利用者の暮らしを支える食事支援、高齢者のエンドオブライフ・ケア、認知症介護基礎研修	30人	45日
看護師	認定看護師によるハンズオンセミナー、高齢者のエンドオブライフ・ケア	2人	2日
事務	採用担当者研修	1人	1日
栄養士	食に携わる職員のためのユニットケア研修	1人	1日
機能訓練指導員	福祉用具の使い方、機能訓練指導員のための情報交換会	2人	2日

全職員	虐待防止研修、ハラスメント防止研修、押さえておきたい！2024年介護報酬改定のポイント、認知症ケアに対する知識向上、ノロ対応ユニット研修、感染症対策、認知症ケアを考える、適切なケアを考える、移乗事故防止、事故防止（骨について）、緊急時救急対応、救命講習、身体拘束適正化研修、ポジショニング研修、サービスマナー研修、介護記録について、ICT機器研修、リスクマネジメント研修、倫理研修、言葉遣いについて	360人	40日
-----	---	------	-----

母子生活支援施設の事業報告

1 事業運営に関する報告

母子生活支援施設では、児童福祉法内施設として「母と子が安心できる場」の実現を基本理念に掲げ、今年度も「母の自立支援」「子どもの育ちへの支援」「親子関係を育むための支援」「施設退居後の生活の広がりへの支援」「児童虐待防止」を重点的に取り組んだ。

事業運営にあたっては、ファミリーソーシャルワークとケアワークの手法により、母と子が営む家庭生活を「丸ごと」側面的に支援をする姿勢で取り組んだ。

2 施設の利用状況（令和6年3月31日現在）

定員	入居世帯数	入居児童数	入居者合計	母親平均年齢
16世帯	8世帯	12人	20人	44歳

◆ 入居児童の内訳（令和6年3月31日現在）

乳幼児	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生	短大生/大学生 /専門学校生	合計
3人	5人	2人	2人	0人	0人	12人

◆ 入居理由

- ・住宅困窮

◆ 世帯の内訳

	世帯数
2人世帯	5世帯
3人世帯	2世帯
4人世帯	1世帯
5人世帯	0世帯
6人世帯	0世帯
計	8世帯

◆ 入・退居状況

	世帯数	人数（うち児童数）	退居世帯の平均利用期間
入居	5世帯	11人（6人）	1年7か月
退居	10世帯	26人（16人）	
<退居先> 都営住宅：2世帯、公営住宅：1世帯、民間：7世帯 その他：0世帯			

[月別入退居の動向]（月末世帯数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居世帯数	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
入居人数	0	4	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0
退居世帯数	1	2	2	0	0	0	1	1	0	2	1	0
退居人数	2	5	5	0	0	0	2	2	0	6	4	0
総世帯数	12	12	11	11	12	12	12	11	11	9	8	8
在所人数	32	31	29	29	32	32	32	30	30	24	20	20

3 支援の状況

(1) 子どもの育ちへの支援

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居児童	遊び支援	延人数	91	118	137	106	119	130	150	153	150	115	128	148	1,545
		時間	149	173	223	174	338	152	275	210	272	173	323	291	2,753
	学習支援	延人数	9	25	41	21	21	25	37	23	29	23	25	25	304
		時間	7	28	41	17	23	29	32	29	45	22	23	27	323
退居児童	遊び支援	延人数	54	57	54	75	130	31	78	103	101	77	75	128	963
		時間	123	101	112	170	378	46	195	289	344	169	135	346	2,408
	学習支援	延人数	10	56	66	56	63	67	95	83	81	91	75	32	775
		時間	20	81	127	88	128	136	226	156	155	176	163	89	1,545

ア 遊び支援

児童の遊び支援は、子どもの様子確認や要保護児童に関わる貴重な時間であり、遊びを通して楽しさを実感してもらい、心の安定を育む時間として有効であった。

イ 学習支援

学習支援は平日の17時から19時及び長期休み期間は10時から11時に宿題を中心とした学習の習慣付けや学力の向上・補完を行った。また、今年度も継続事業である生活福祉課の「学習応援事業」として、入居児童及び近隣の退居児童を対

象に学習会を実施した。今年度は昨年度より年間の開催回数も増え、年間72回開催し、延べ人数683人の参加人数であった。特に中高校生を対象に開催した回数も増え、テスト期間に集中して行ったことで、大きな学力向上に繋がると共に、今年度は学習応援事業の参加児童の中から大学合格者2名、都立高校合格者2名と成果を上げることができた。参加世帯からも大変好評を得て、参加児童も定着していった。その他、学習応援事業の一環としてイベントを年2回実施した（マザー牧場、空気鉄砲・石鹸作り）。継続した学習支援では、NPO法人・キッズドアによる「イングリッシュ・ドライブ」の開催回数もコロナ禍前に戻って年間21回に増え、英語を楽しみながら学ぶことが出来た。

昨年度と同様に国の特別育成費として、対象となる児童がいる世帯に補習費として塾代を助成した。

(2) 安心した生活をするための支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居児童	補助保育	延人数	7	7	15	42	30	19	24	20	14	9	11	19	217
		時間	5	7	16	30	17	11	17	14	11	6	11	14	159
	病児保育	延人数	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
		時間	2	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	9
	登降園代行	延人数	1	7	14	0	0	11	12	7	4	11	9	12	88

母と子が安全で安心して暮らせる「生活の場」の提供を第一の目標とし、以下の支援を行った。

ア 生活の場の提供

施設建物老朽化に伴い、今年度も中・長期計画の一環として、居室及び共有部分の混合水栓交換工事、1階共用部分の蛍光灯照明器具からLED交換工事など居住環境の整備の修繕を実施し、節電対策を含めた居住環境の保全に努めた。

イ 就労支援として、就労の継続のために保育園や小学校の送迎支援を行った。登校渋りのある児童に対する登校支援の実施により、登校代行の回数が増加した。

また、家事や休息など母の必要に応じリフレッシュ保育を行い、母親の育児負担の軽減を図り、子どもとの生活時間が確保できるように取り組んだ。

ウ 同行支援

入居者の様々な生活課題を解決するために、社会資源の紹介や情報提供をし、必要に応じて専門機関との連携を図り、その関係先への同行支援を行った。

◆ 今年度に連携・同行した専門機関等

○区役所 ○児童相談センター ○子ども家庭支援センター ○教育センター

- 小学校 ○保育園 ○病院 ○保健所 ○警察 ○弁護士事務所
○住宅供給公社 ○社会福祉協議会 ○民生児童委員

(3) 安定した心身を回復するための支援

[心理担当職員の実績]

		延人数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども対応	場面観察	遊び	8	3	2	1	2	1	4	1	0	3	1	7	33
		補助保育	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	5
母親対応	面接		1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	7
	軽面談		3	4	4	3	2	1	1	4	5	2	5	1	35
専門的助言	ケース会議参加		0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	8

心理担当職員が月8日勤務している。コロナ感染症が5類になったことや、心理士担当職員が勤続3年目となり入居者とのやり取りが以前よりも活発さを増したことから、日時を予約して行う心理面談よりも、チャンス相談(※)である軽面談が約1.5倍に増加した。

※ チャンス相談・・・立ち話や日常での様々な機会を利用して行う相談

(4) 自立に向けての支援

ソーシャルワークの手法による自立支援を以下のプロセスで実施した。

入所前面談⇒入所時面談[自立支援計画策定]⇒6月合同面接[自立支援計画策定]⇒11月面接[自立支援計画策定]⇒見直しのサイクルで、入居者と共に自立支援計画を立て、自立に向けて支援した。小学生以上の子に対しても入所後に面談を持ち、子どもの意見を尊重しながら目標シートに記入してもらい、児童支援計画を策定し支援した。

(5) 年間行事の実施状況

母や子の社会性を養い、親子の絆を深め、心身のリフレッシュを図ることを目的として各行事を行い、児童の健全育成を図った。年間行事については、感染防止に努めながらコロナ禍前の様式に戻って実施した。児童対象行事は、日本の伝統的な歳時を取り入れた内容を企画し、母親も自由に参加してもらい、親子で楽しい時間を共有できた。その他、今年度は都内母子生活支援施設対抗のドッジボール大会に入居児童が参加し、見事優勝することができた。

また、子どもの年齢や発達段階に応じて、性に関する正しい知識を得る機会を設け、さらに子どもの権利擁護の観点から「子どもの意見表明権」の仕組みを学ぶ場として、講師を招いての性教育講座「出張保健室」を開催した。入居児童の他に退居児童も参加し、性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を得る機会として、とて

も有意義な時間となり、母親からも好評だった。

母親向けの行事では、日常生活から開放される時間の提供を目的とし、講師を招いての「クリスマススワッグ」や「ヘアケア・子どものヘアカット講座」を実施した。

	全体行事	母親対象行事	児童対象行事	その他
4月		全員懇談会 教養講座：「ヘアケア・子どものヘアカット講座」	入学・進級を祝う会 子ども会	防災訓練 定期健診（母親）
5月			子どもの日・母の日を祝う会 子ども会	防災訓練
6月		定期面談（合同）		防災訓練 キッズ美容室 居室点検
7月			七夕会 引率レク「ヤングアメリカン」	防災訓練
8月			都内母子生活支援施設対抗ドッチボール大会 おやつ会 子ども会	防災訓練
9月		全員懇談会	お月見	防災訓練 キッズ美容室
10月				防災訓練 定期健診（母親） 学習応援イベント
11月		定期面談 教養講座：「クリスマススワッグ」	勤労感謝の日を祝う会	防災訓練 キッズ美容室
12月	クリスマス会		子ども会（2回）	防災訓練 キッズ美容室
1月	新春顔合わせ会			防災訓練
2月	遠足「よみうりランド」		節分会	防災訓練
3月	春の集い	全員懇談会	ひな祭り会 引率レク「科学技術館」 性教育「出張保健室」	防災訓練 学習応援イベント

(6) 退居世帯に対するアフターケア

ア 母親支援

退居世帯には、在所中に退居時面談を実施し、退居後の生活についての支援内容を本人と共に検討しアフターケアとして取り組んだ。今年度も母から子ども対応への相談が多くあり、来訪相談や家庭訪問・電話対応などできる範囲で対応した。退居後に問題が発生した世帯には職員間で再検討し、切れ目のない支援を目指した。

児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」「キッズ美容室」などへの参加を呼びかけ、退居世帯の状況も把握することができた。その他に、奨学金制度や都営住宅の募集などの情報提供、親子の遊び場所、退居児童の学習場所など、昨年以上にアフターケアで施設を利用する機会が増加した。

[退居者の支援の実績]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	延人数(人)	2	14	18	12	14	6	17	10	21	5	17	28	164
	うち心理担当職員対応(人)	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	5
	うち心理担当職員対応(時間・分)	0	60	0	0	150	0	90	55	0	0	0	10	365
電話(延人数)		28	26	35	25	34	39	31	37	17	11	72	43	398

イ 子ども支援

退居児童も入居児童と区別することなく支援をし、児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」などへの参加を呼びかけ、参加する児童も多かった。施設を利用する退居児童が年々増加し、アフターケアとしての機能が定着してきている。その他に、児童の居場所としての利用に加え、昨年度に引き続き、要保護児童に対するアプローチも継続して行い一定の成果を上げた。

(7) 安全・防災管理

災害に対しては、防災訓練を毎月実施し、3月には入居者が応急救護を学ぶ機会として職員がプロジェクターで動画を使っでの応急救護講習を行った。

今年度も、飲料水や食料など備蓄品も増量して、災害対策をより一層強化した。入居世帯毎にも緊急持ち出し袋を配置し、有事に備えてもらっている。

(8) 関係機関と地域の理解・協力

支援関係者との協働ネットワークの構築の一つとして、渋谷区要保護児童対策地域協議会に参加した。また、地域の主任児童委員や民生委員との協力体制を強化するため、懇談の機会を設け関係機関との連携を図った。その他、入居する児童が通っている小学校と情報共有を含めた連携強化のための懇談会を開催した。地域交流行事「お

餅つき会」は、アフターケアの一環として近隣に退居した世帯を対象に「春の集い」という形に改め、軽食を提供し、ゲーム会を開催する内容に変更した。入居者・退居者合わせて54名が参加し、大勢の参加者で大盛況に終わった。また、町会主催の「地区防災訓練」「納涼会」「町内運動会」「お餅つき会」や地区民生児童委員主催の「ひろば」に子ども達と共に参加し、地域の方々と交流する機会もとても多かった。

(9) その他

ア ボランティアの受入れ

ボランティアの協力は、事業の質の向上や入居者の安全の確保のために大変効果的であり、今年度もしづやボランティアセンター、実習受け入れ校などに依頼した。協力者には事前に施設の機能や事業内容についての説明を行い、継続的な参加も得られた。

学習支援ボランティアではNPO法人・キッズドアの協力により小学生から高校生の児童を対象とした「イングリッシュ・ドライブ」の実施が定着し、学習指導ボランティアと受講生との交流が深まった。児童にとって、家族以外の社会人との交流の機会は、学習効果とは別に大変意義深いものであった。その他、「キッズ美容室」を実施するにあたって、昨年と同様にカットボランティアにも協力をしてもらい、入退居者には大好評だった。

また、施設行事に母親が安心して参加できるような行事開催時の補助保育についても、ボランティアの協力を得られた。

	学習指導	教養指導	行事・保育	施設整備	合計
延人数	71人	15人	9人	0人	95人

イ 実習生の受入れ

社会福祉人材の育成のため、保育士実習生の受入れを行った。

保育士養成校：6校

社会福祉士養成校：1校

実習生：7人

実習生：3人

延実習期間：77日間

延実習期間：9日間

4 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	母子支援員	少年指導員	合計
正規職員	1人	3人	1人	5人

※ 施設長は、母子支援員1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（心理担当職員・少年指導員）

5 勤務体制

職員は1か月毎の勤務割表により、週平均40時間勤務する。

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
平日		7:30	—————										16:15								
			9:00	—————										17:45							
			9:30	—————										18:15							
			10:15	—————										19:00							
			11:15	—————										20:00							
土日		8:30	—————										17:15								

※ 祝祭日・年末年始は休日である。(ただし、5月4日・12月30日・1月2日は勤務した。)

※ 夜間は警備員を配置している。

6 職員研修

職種	研修内容
施設長	・全国社会福祉協議会：社会的養護を担う児童福祉施設長研修会
母子支援員	・東京都社会福祉協議会：基幹的職員研修 ・東京都社会福祉協議会：チームリーダー研修 ・東京都社会福祉保健医療研修センター：メリデン版訪問家族支援：ひきこもり支援研修 ・母子福祉部会：新任研修・合同研修 ・母子福祉部会従事者会：研修会 ・事業団本部：ハラスメント防止 ・東京防災救命協会：上級救命再講習
少年指導員	・東京都社会福祉協議会：中堅職員研修 ・東京都社会福祉保健医療研修センター：発達障害者支援
心理担当職員	・東京都社会福祉保健医療研修センター：思春期・青年期における問題行動
施設内研修	・発達障害を抱える児の支援について考える

7 その他

今年度は、2つの団体から寄付を受領した。1つの団体からは、空気清浄機2台及び備蓄用食料、もう1つの団体から図書カードの寄付があり、入居者に還元できる物品を購入した。

渋谷区生活実習所つばさの事業報告

1 事業運営に関する報告

生活実習所つばさは、障害者総合支援法に基づき設置された生活介護施設である。施設の設置目的に従い、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の理念により利用者が地域生活を自立的に営めるように配慮して運営した。

利用契約した障がい者に対して、個別支援計画のもと年間事業計画を立案し、四季折々の行事とアート活動及び生産活動を通じて豊かな日常生活支援を実施した。

運営に当たっては、次の基本理念に従い事業を展開した。

- (1) 共に生きる社会の一員として利用者の意思と人格を尊重し、自立した個人としての人権を守る。
- (2) 地域で豊かな社会生活を送るために必要とするサービスを提供する。
- (3) 地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。

2 利用定員 20人

3 事業実施状況

(1) 施設の利用状況（令和6年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
在籍者数	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人
支援日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日
延出席者	336人	330人	359人	342人	365人	321人	350人
出席率%	88.40%	86.80%	85.90%	90.00%	87.30%	84.50%	87.70%
送迎バス	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
在籍者数	19人	18人	18人	18人	17人	平均在籍者数	19人
支援日数	20日	20日	19日	19日	20日	支援日数計	243日
延利用者	343人	329人	282人	282人	297人	延出席者数	3,936人
出席率%	90.3%	86.6%	82.5%	82.5%	82.5%	平均出席率	86.3%
送迎バス	19人	18人	18人	18人	17人	平均乗車人数	19人

※ 男性利用者2人が区外生活介護事業所へ移籍（12月、3月各1人）

※ 女性利用者1人が長期療養中

※ 休業日は、土曜日及び日曜日と国民の祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

(2) 利用者の年齢と性別（令和6年3月31日現在）

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～	合計	平均
男性	0人	2人	2人	1人	1人	2人	8人	32.4歳
女性	0人	2人	2人	0人	1人	4人	9人	34.6歳
合計	0人	4人	4人	1人	2人	6人	17人	33.5歳

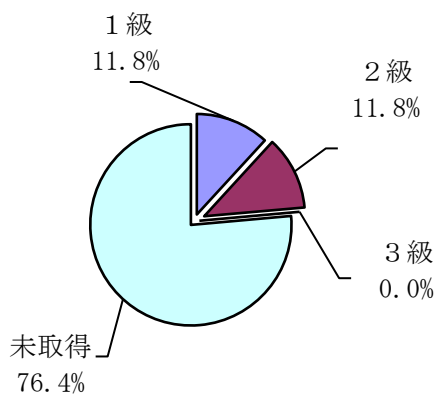
(3) 利用者の障害程度（令和6年3月31日現在）

障害支援区分

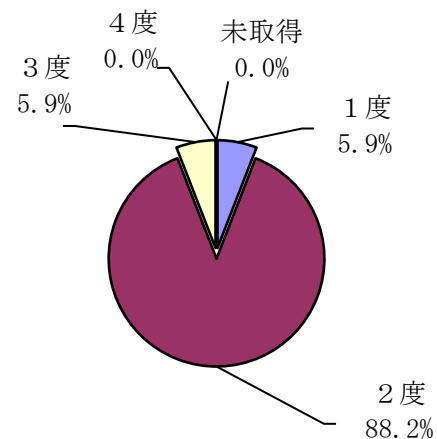
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
男性	5人	3人	0人	0人	0人	0人	8人
女性	3人	3人	3人	0人	0人	0人	9人
合計	8人	6人	3人	0人	0人	0人	17人

区分	身体障害者手帳				合計	
	1級	2級	3級	未取得		
愛の手帳	1度	0人	0人	0人	1人	1人
	2度	1人	2人	0人	12人	15人
	3度	1人	0人	0人	0人	1人
	4度	0人	0人	0人	0人	0人
	未取得	0人	0人	0人	0人	0人
合計	2人	2人	0人	13人	17人	

身体障害者手帳取得状況



愛の手帳取得状況



(4) 入所前の状況（令和6年3月31日現在）

学校在学	他の福祉施設	在宅	合計
特別支援学校			
14人	3人	0人	17人

(5) 年間行事等実施状況 ※ PT：理学療法士、ST：言語聴覚士、運動：ヨガ

月別	行事（実施日）	講師プログラム	安全衛生
4月	誕生会（13日）	機織り、音楽、機能訓練 運動、創作、PT、ST	内科・精神科検診 検便
5月	端午の節句（2日） 誕生会（11日）	機織り、音楽、運動、PT 創作、ST	内科・精神科検診
6月	梅雨のお茶会（22日） バスハイク（5・6・8日）	機織り、運動、機能訓練 音楽、創作、PT	内科・精神科検診 新型コロナウイルスワクチン 接種
7月	七夕・浴衣会（7日） 誕生会（27日）	機織り、運動、音楽、創作 PT	内科・精神科検診
8月	誕生会（10日）	音楽、機織り、機能訓練 運動、創作、PT	内科・精神科検診 定期健康診断
9月	誕生会（14日）	音楽、運動、機織り、創作 PT、ST	内科・精神科検診
10月	誕生会（12日） つばさまつり（21日）	機織り、運動、機能訓練 音楽、創作、PT、ST	内科・精神科検診 検便、歯科検診
11月	バスハイク（2日） 誕生会（9日） 渋谷区障害者連合運動会 （23・祝日）	音楽、運動、機織り、創作 PT、ST	内科・精神科検診 インフルエンザ予防接種
12月	誕生会（14日） クリスマス会（25日）	音楽、運動、創作、ST 機織り、機能訓練、PT	内科・精神科検診 新型コロナウイルスワクチン 接種
1月	新年・成人を祝う会 （11日）	音楽、機織り、創作、PT ST	内科・精神科検診
2月	節分（1日） ハッピーバレンタイン（14日）	音楽、運動、機能訓練 機織り、創作、PT、ST	内科・精神科検診
3月	誕生会（14日） お花見（27日） 納め会（28日）	音楽、運動、機織り 創作、PT、ST	内科・精神科検診

※ 新型コロナウイルスワクチン接種は、東京都のワクチンバスを依頼し、インフルエンザ予防接種は嘱託医の協力により施設内で実施した。

※ 行事と講師プログラムは、五感を使う豊かな日中活動の企画運営に努めた。

(6) 活動の実施状況

本人、家族、代理人、関係機関との文書交換と面談、電話等による調整により年度

初めに個別支援計画を策定し、半年後のモニタリングと家族等への確認と同意により見直しをすることで、利用者の特性に適応した日中活動を提供した。

項目	内容
健康に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断を実施した。 ・歯科検診を実施した。 ・内科医、精神科医による検診を月1回実施した。 ・新型コロナワクチン接種及びインフルエンザ予防接種を施設内で実施した。 ・昼食時の服薬管理と服用支援を行った。 ・毎月1回の体重測定を行った。 ・栄養士が栄養相談と嗜好調査を実施して、家庭での食事状況と本人と家族からの希望を把握し給食支援に反映した。 ・言語聴覚士による食形態の確認や口腔機能改善の取り組みを実施した。 ・理学療法士による身体機能維持に向けての助言・指導の充実を図った。 ・リンパマッサージや血行促進のための足湯等を必要な利用者を実施した。
日常生活に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝利用者の身体機能に応じた「つばさ体操（オリジナル）」を実施した。 ・日常生活動作機能の維持向上のために機能訓練とストレッチ体操に取り組んだ。 ・食事、排泄、着脱衣等の生活動作の介助、支援を適切に行った。
コミュニケーション・対人関係に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活における基本的な約束事（順番を待つ・守る、自他の所有物の区別等）を理解し行動できるように支援した。 ・個人の特性を大事にしながら「みんなの中の一人」としての行動が出来るように支援を工夫した。 ・感情のコントロール、自傷や他害行為の減弱に向けての支援に努めた。 ・コミュニケーション・ツールとして、マカトンサインや写真などを活用した。
日中活動・社会参加に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ、機織り、和紙、創作活動を通じて楽しみながら、集中力や達成感を得られるように配慮ある支援をした。 ・製パン活動では一般販売と区内こども園へ月2回納品した。 ・「つばさまつり」において製品を販売し、収益を支給金として利用者に還元した。 ・音楽療法等では、発散による情緒的安定と自己表現やコミュニケーションを楽しむなどの社会性が身につく活動を取り入れた。 ・講師による全員参加の活動と、特性を活かす個別活動をバランスよく提供した。 ・プール活動は中止し、それに代わる運動プログラムの充実に取り組んだ。また、月2回地域の区民会館等の体育室で全身を使う粗大運動を行った。 ・利用者個人の体力や体調に合わせて外気浴やウォーキングを計画的に実施した。 ・年間計画にある行事を全利用者が楽しめるように工夫して提供した。
生活基盤・家族支援に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への昼食サービスを提供した。 ・送迎バスによる送迎サービスを実施した。 ・緊急一時保護施設や短期入所施設の利用時の送迎バスサービスを実施した。 ・家族会を4回、家族の給食試食会、家族同席の行事を3回実施した。 ・家族対象に大震災等の被災時の過ごし方についてアンケート調査を実施した。 ・家族へ広報誌年4回発刊と「お知らせ」の配布、電話等での連携を実施した。 ・家族が安心できるように個別面談を実施し、同意の上で保護施設や居宅介護事業所との綿密な連絡を図り、利用者の健康や安全、情緒の安定に配慮した。

4 ボランティア及び実習生の受入れ

(1) ボランティア

地域高齢者の昼食提供を含めたボランティアの受入れと、温水プール一般開放での水泳指導ボランティア等地域区民との交流活動は、感染症予防のため中止とした。

(2) 実習生

人材育成に寄与することを目的に実施していた教員免許、公認心理師等の資格取得のための演習・実習は感染症予防のため中止となったが、社会福祉士資格、保育士資格取得、地域生活移行、移動支援従事者養成講座研修は、感染対策の上受入れた。

実習種別	社会福祉士 資格取得実習	保育士資格 取得実習	地域生活移行 のための実習	区移動支援従事者 養成講座研修	合計
延人数	1人	2人	1人	5人	9人
延べ日数	8日	24日	3日	1日	36日

5 職員研修

(1) 職員育成のための外部研修

支援に関する内容では「ダウン症の成人期に注意すべき症状と対処法」「てんかん講座」「東京都支援力育成派遣事業の事例報告」「医療的ケア実践研修」「知的障がい者への食事支援その考え方と手法」「自閉症の強度行動障害 事例と理解」「栄養管理講習会」「食べること 生きること」「形骸化させない個別支援計画の書き方」を受講し全職員へ資料の回覧と所内研修を実施した。

また、支援職員全員が東京都の主催する「強度行動障害支援者養成研修」を受講した。職員自身を守る内容では「障害者にかかわる職員の心の健康について今日からできるメンタルヘルスケア」「ハラスメントのない職場作り」「災害時の要配慮者支援人材育成事業防災・減災」「BCP策定について」「強度行動障害支援アドバンス研修」と上級救急救命講習会を受講した。

(2) 虐待防止及び権利擁護に関する研修

「身体拘束等の適正化推進の義務化」「障がい者虐待防止・権利擁護研修」「知的障害者の権利擁護（国連の総合所見）」「障がい者差別解消法に係る事業者向け説明会」を受講し、全職員へ資料の回覧と所内研修を実施した。

(3) 感染症及び震災・大規模災害に関する事業継続計画（BCP）に関する研修

感染症対応マニュアルと感染症対策指針及び震災・大規模災害対応マニュアルの見直しを行い、事業継続計画（BCP）による危機体制の共有と研修を実施した。

6 施設管理に関する報告

(1) 建物・設備等の維持管理

自動扉、床暖房等の設備に関しては、定期的に保守点検を委託業者により行った。食堂の照明器具と利用者の手洗い場の水栓レバーの取替え、玄関ガラス扉の飛散防止シートの張替え等経年劣化による不具合の解消に務めた。

(2) 防災体制

消防設備・器具の定期点検及び防災教育の徹底を図るために、年間防災計画に基づく避難訓練を行うと共に防災会議を年3回開催した。

グループ活動で外出している際に、災害（地震）が起こった場合を想定しての通報訓練及び避難場所からのバス乗車訓練を行い、消火器、発電機、タタメット、防災頭巾、寝袋等の防災用具の使用方法を利用者と職員の全員が体験を通して確認をした。

実施月	訓練実施日	内容
4月	11日	避難訓練（地震想定）
5月	10日	防災備蓄を使用した給食
6月	1日	伝言ダイヤル（家族向け）
	26日	避難訓練（火災想定）
8月	7日	避難訓練（地震想定）
	1・15日	伝言ダイヤル（家族向け）
9月	1・15日	伝言ダイヤル（家庭向け）
	29日	避難訓練（火災想定・バス乗込み訓練）
	6日	防災備蓄を使用した給食
11月	28日	避難訓練・外出時通報訓練（地震想定）
12月	20日	防災備蓄を使用した給食
2月	20日	避難訓練（火災想定）

(3) 災害時要援護者対策二次（福祉）避難所としての整備

要援護者に対する二次（福祉）避難所としての環境整備等を防災課及び障がい者福祉課と連携して検討・準備を進めた。

7 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	事務	生活支援員	栄養士
正規職員	1人	1人	6人	
非正規職員			4人	1人
	看護師	合計	総合計	
正規職員		8人	14人	
非正規職員	1人	6人		

※ 生活支援員のうち正規職員1人は、サービス管理責任者

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（生活支援員・調理員）

8 勤務体制

勤務体制は、午前8時30分から午後5時15分までである。

渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告

I 幡ヶ谷授産場

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷授産場は、社会福祉法に基づき設置された授産施設である。施設の設置主旨に従い、高齢者や低所得者に対して仕事と場所を提供し、安全かつ効率的に作業ができるように指導した。このことを通して、利用者の生活の安定と生きがいを得られるように配慮して運営した。

また、作業に関しては、次のような点に留意した。

- (1) 危険性、有害性、不快感がなく、安全であること
- (2) 作業内容が複雑でなく短時間で習得できること
- (3) 作業内容に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (4) 作業が肉体的に過重な負担とならないこと

2 利用定員

◆ 場内作業利用定員 30人

3 利用者の内訳（令和6年3月31日現在）

利用資格	簡易作業		
	場内	居宅	計
60歳以上の者	17人	—	17人
(うち生活保護受給者)	(0人)	—	(0人)
低所得者	1人	—	1人
(うち心身障害者)	(1人)	—	(1人)
計	18人	—	18人

4 作業状況（令和6年3月31日現在）

作業種別	場内			居宅			計		
	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人員	年間工賃支払額
簡易作業	18人	196人	11,796,847円	0人	0人	0円	18人	196人	11,796,847円

5 防災体制

消防計画に基づき、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所と連携し、総合防災訓練を行った。

6 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	4人	7人
非正規職員			3人	3人	

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談

(2) バス旅行によるレクリエーション

10月に実施予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。

II 幡ヶ谷のぞみ作業所

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷のぞみ作業所は知的及び身体障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。

利用契約をした障がい者の方に、就労機会を提供すると共に、生産活動及びその他の活動の提供を通じて、地域で円滑な社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

2 利用定員

20人

3 利用状況

(1) 利用者の年齢と性別（令和6年3月31日現在）

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	合計	平均
男性	3人	1人	6人	2人	0人	0人	12人	39.7歳
女性	3人	0人	1人	1人	1人	0人	6人	36.2歳
計	6人	1人	7人	3人	1人	0人	18人	38.5歳

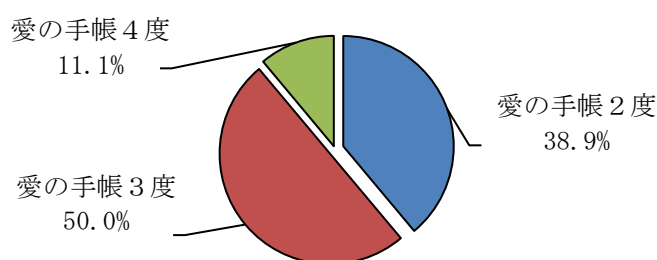
(2) 利用者の障害程度（令和6年3月31日現在）

	愛の手帳			合計
	2度	3度	4度	
男性	5人	6人	1人	12人
女性	2人	3人	1人	6人
計	7人	9人	2人	18人

※ 上記愛の手帳3度所持の男性1人は身体障害2級と重複

※ 上記愛の手帳3度所持の女性1人は身体障害4級と重複

利用者の障害程度



4 作業状況（令和6年3月31日現在）

作業種別	従事人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	18人	192人	2,068,483円
公園清掃	(18人)	(180人)	1,004,336円
自主製品	(18人)	(180人)	515,722円
植木剪定等役務作業	(17人)	(90人)	138,600円
シブヤフロント	(17人)	(144人)	453,046円
草刈り	(15人)	(30人)	53,207円
計	18人	192人	4,233,394円

5 年間行事実施状況

利用者相互の親睦を図ると共に、自主・自立の心を育成してゆくため以下のとおり年間行事を実施した。

行 事	
4月	療育音楽会・誕生会・さをり織り
5月	療育音楽会・誕生会・ボウリング大会
6月	療育音楽会・さをり織り・新型コロナワクチン（第6回目）接種（希望者のみ）

7月	療育音楽会・さをり織り
8月	さをり織り
9月	療育音楽会・さをり織り
10月	療育音楽会・さをり織り・日帰りバス旅行・新型コロナワクチン（第7回目）接種（希望者のみ）
11月	療育音楽会・さをり織り・渋谷区障害者連合運動会・インフルエンザ予防接種（希望者のみ）
12月	療育音楽会・さをり織り・食事会
1月	療育音楽会・さをり織り・初詣・新年抱負発表会
2月	療育音楽会・さをり織り
3月	療育音楽会・さをり織り・お疲れ様会（カラオケ大会）

※ さをり織りはボランティアを招いて実施した。

保護者会	年間3回（4、9、2月）
------	--------------

6 防災体制

渋谷区立幡ヶ谷授産場と連携して総合避難訓練を実施した。

7 職員配置（令和6年3月31現在）

	施設長（兼務）	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	2人	1人	4人	7人
非正規職員		1人	2人	3人	

※ 渋谷区立幡ヶ谷授産場の施設長が、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の施設長を兼務する。

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

8 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

9 健康管理

年1回の健康診断を実施した。

嘱託医による月1回の健康相談を実施した。

渋谷区立新橋作業所の事業報告

1 事業運営に関する報告

新橋作業所は、渋谷区条例に基づき、障がい者及び高齢者等の福祉の増進に寄与するために設置された作業所である。

障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。また、併せて、高齢者等を対象とした物品の受託加工等事業を行っている。

利用契約した障がい者及び利用承認された高齢者等の方に、就労機会の提供等を行うことにより、その自立を助け、生活の安定を図ることを目標に運営した。

また、作業に関しては、次の事柄に配慮した。

- (1) 危険性、有害性等がなく、作業が安全であること
- (2) 加工材料に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (3) 障害等の程度に応じて作業の質、量の配分をすること
- (4) 納期までに確実に履行すること

2 利用定員

- ◆ 障がい者（就労継続支援B型事業） 25人
- ◆ 高齢者等 10人

3 利用者状況（令和6年3月31日現在）

(1) 利用者の内訳

利用資格	人数	人数の内訳	
障がい者	20人		
高齢者等	8人	60歳以上の者	7人
		区長が適当と認めた者等	1人
計	28人		

(2) 利用者の年齢と性別

		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計	平均
		障がい者	男性	2人	1人	1人	0人	2人		
女性	0人		3人	3人	4人	0人	0人	2人	12人	51.0歳
合計	2人		4人	4人	4人	2人	2人	2人	20人	48.5歳
高齢者等	合計	0人	0人	0人	1人	0人	4人	3人	8人	75.3歳

(3) 利用者の障害程度

		身体障害者手帳					合計
		1級	2級	3級	4級	なし	
愛 の 手 帳	2度					1人	1人
	3度	1人				4人	5人
	4度	1人	1人		1人	10人	13人
	なし			1人			1人
合計		2人	1人	1人	1人	15人	20人

4 作業状況（令和6年3月31日現在）

作業種別	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	B型平均工賃	高齢者等平均工賃
簡易作業	28人	329人	※15,687,975円	37,688円/月	72,306円/月

※ コロナ禍前（令和元年度：15,609,746円）と同水準。令和4年度の約4.2%増。

※ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、作業場所及び昼食場所を分散させることは継続しつつ、始業時間は本来の9時に戻した。終業時間は、保護者等の理解を得て、最長16時または作業終了時とした。

5 防災体制

消防計画に基づき、年2回（6月、2月）の自衛消防訓練（総合訓練）を、コロナ禍前と同様に行った。

また、1月17日に所内で、開所時における緊急災害時の対応について説明した。

※ 3日分の食料及び飲料水を備蓄（全利用者及び全職員分）

6 職員配置（令和6年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	2人	5人	10人
非正規職員			3人	2人	5人	

※ 施設長は、事務1人

※ 正規職員の生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談を毎月2回実施した。

(2) レクリエーション行事の実施

◆ バス旅行 令和4年度に引き続き実施した。

実施日：令和5年10月13日（金）

行き先：「マザー牧場」と「海ほたる」

交通：大型観光バス

参加者：26人（障がい者15人、高齢者1人、職員等10人）

◆ その他 近隣商店街でお弁当購入（週2回）、お散歩会（恵比寿ガーデンプレイス、氷川神社）や、所内で、七夕、お月見（十五夜）、クリスマス会（ケーキと飲み物）、新年食事会（お弁当の配達やデザート等を購入しての飲食）、節分、桃の節句等を実施した。

認定こども園・保育園の事業報告

事業団は、渋谷区の待機児童の解消に寄与すると共に、次世代を育成するという渋谷区の重点施策に応えるため、保育所型認定こども園「神宮前あおぞらこども園」「本町きらきらこども園」「恵比寿のびのびこども園」「本町そよかぜこども園」の4園及び認可保育所「神宮前保育園にじ」「西原保育園ゆめ」の2園を運営している。

そしてこれらこども園や保育園では、「良質な保育、幼児教育」を保障し、就学前のすべての子どもが「基礎的な生活習慣や社会性、礼儀」を身につけ、学習の基礎となる「好奇心、探究心、思考力や豊かな感性」の涵養を図るべく、入園児すべてに「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「渋谷区就学前教育プログラム」等に基づいた良質な保育・教育を一体的に提供している。

子育て支援事業「ひろば事業」は11年目を迎え、一時保育、子育て広場、体験給食、保育体験、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談などを行った。

現在、保育現場が抱える大きな課題として、保育士の人材を確保して育成すること、保育施設の見える化などがあげられる。これらに対応するため、大学の授業に出向き、事業団の保育について説明し、面接指導も行うなどして大学や学生とのつながりを大切にしてきた。今年度は昨年度に引き続き、一部オンラインも取り入れて実施した。

I C T化については、連絡帳アプリ、事務作業等を効率化する保育管理業務システム及び0歳児クラスのうつぶせ寝に反応するベビーセンサーを活用したほか、インターネットを利用した写真の販売を全園で導入した。

また、事業団の保育人材確保、定着及び離職防止を図るため、平成28年度に開始した宿舍借上げ支援事業については、今年度は51人の職員が利用した。

平成29年度から始めた国内視察は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした時期もあったが、令和6年2月、昨年度に引き続き応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を視察した。

「神宮前保育園にじ」は、令和6年度から現在の所在地より神宮前一丁目に移転し、「原宿こども園」として開園するが、一般社団法人次世代SMILE協会と連携してスポーツを特色とすることなどの準備を進めた。

1 職員採用

第1次募集	筆記試験	令和5年9月2日
	面接・実技試験	令和5年10月19日～21日
第2次募集	筆記試験	令和5年11月4日
	面接・実技試験	令和5年11月17日～18日

※ 応募者35人、受験者26人、令和6年4月1日付採用者14人（保育士13人、看護師1人）

※ 第3次募集は、応募者0人。

2 園児定員

※ 2号・3号認定児は長時間保育利用児、1号認定児は短・中時間保育利用児

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				5人	5人	5人	15人
計	10人	18人	20人	25人	25人	25人	123人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				4人	5人	6人	15人
計	10人	18人	20人	24人	25人	26人	123人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				2人	4人	4人	10人
計	10人	18人	20人	22人	24人	24人	118人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				3人	5人	5人	13人
計	10人	18人	20人	23人	25人	25人	121人

(5) 神宮前保育園にじ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児		6人	9人	10人	10人	10人	45人

(6) 西原保育園ゆめ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	16人	20人	20人	20人	20人	106人

3 在籍数の推移

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	82人	82人	83人	87人	91人	91人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	7人
計	90人	90人	91人	95人	99人	98人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	91人	93人	92人	91人	90人	89人	1,062人
1号認定児	7人	7人	7人	7人	7人	7人	89人
計	98人	100人	99人	98人	97人	96人	1,151人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	102人	103人	103人	100人	101人	100人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人
計	110人	111人	111人	108人	109人	108人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	102人	103人	103人	104人	104人	104人	1,229人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人	96人
計	110人	111人	111人	112人	112人	112人	1,325人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	97人	98人	100人	101人	101人	101人
1号認定児	9人	9人	7人	7人	7人	7人
計	106人	107人	107人	108人	108人	108人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	101人	101人	101人	102人	102人	102人	1,207人
1号認定児	7人	7人	7人	7人	7人	7人	88人
計	108人	108人	108人	109人	109人	109人	1,295人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	106人	106人	106人	106人	107人	107人
1号認定児	9人	9人	9人	9人	8人	10人
計	115人	115人	115人	115人	115人	117人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人	1,286人
1号認定児	10人	10人	10人	10人	10人	10人	114人
計	118人	118人	118人	118人	118人	118人	1,400人

(5) 神宮前保育園にじ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	27人	27人	27人	27人	27人	28人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	28人	27人	28人	28人	28人	28人	330人

(6) 西原保育園ゆめ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	104人	104人	104人	104人	103人	104人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	104人	106人	106人	106人	105人	105人	1,255人

4 職員配置（令和6年3月31日現在）

施設	職種	園長	事務	看護師	保育士	用務	合計	総合計
あおぞら	正規職員	1人		1人	23人		25人	35人
	非正規職員		1人		8人	1人	10人	
きらきら	正規職員	1人		1人	25人		27人	38人
	非正規職員		1人	1人	8人	1人	11人	
のびのび	正規職員	1人		1人	26人		28人	36人
	非正規職員		1人		6人	1人	8人	
そよかぜ	正規職員	1人		1人	24人		26人	35人
	非正規職員		1人		7人	1人	9人	
にじ	正規職員	1人			10人		11人	15人
	非正規職員				3人	1人	4人	
ゆめ	正規職員	1人		1人	20人		22人	29人
	非正規職員				6人	1人	7人	
計	正規職員	6人		5人	128人		139人	188人
	非正規職員		4人	1人	38人	6人	49人	

※ 園長は、保育士6人

※ 正規職員の保育士のうち育休取得中が11人、産休取得中が3人、病気休職中が1人

※ 非正規職員の保育士のうち育休取得中が3人、病気休職中が1人

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務、保育士）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23											
看護師 保育士	①							7:25	—————																16:10											
	②							7:45	—————																16:30											
	③							8:00	—————																16:45											
	④							8:30	—————																17:15											
	⑤							9:00	—————																17:45											
	⑥							9:30	—————																18:15											
	⑦							10:00	—————																18:45											
	⑧							11:00	—————																19:45											
	⑨							12:00	—————																20:45											
事務 用務	平常							8:30	—————																17:15											

6 年間行事実施状況

日本の伝統文化の継承や季節に合わせた行事を取り入れ、次のような年間の行事を計画し実施した。

(1) こども園・保育園の共通年間行事

	行事名	ねらい	内容
4月	入園進級お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい友達を知る。 ・入園、進級を喜び、みんなでお祝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス、子ども、職員の紹介 ・お楽しみの催しもの（パネルシアター・紙芝居など）
5月	こどもの日の集会	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの日の由来を知る。 ・友達と一緒に体を動かし、ゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの製作物紹介 ・体操、ゲームなど
7月	縁日ごっこ 夏まつり (園児のみ参加)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で縁日ごっこに参加し、地域の人と一緒に楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手づくりおもちゃコーナー ・お店屋さん、レストラン ・盆踊り ・夕方または土曜日に実施
	七夕の集会	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕について知り、楽しんで集会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕の由来 ・パネルシアター
	プール開き (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・プールでの約束事を知る。 ・プール遊びを友達と楽しむことに期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇鑑賞 ・体操、ゲーム
8月	すいか割り	<ul style="list-style-type: none"> ・すいか割りをみんなで楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児、幼児に分かれてすいか割り
10月	運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で体を動かし、楽しい1日を過ごす。 ・一人ひとりの子どもが力を発揮し、みんなで成長を喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ・体操、競技、遊戯 ・地域競技
	バス遠足 (3歳～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然の中で園外保育を楽しむ。 ・秋の自然を感じながら芋ほりを楽しむ。 ・他園の友達とバス遠足を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先は昭和記念公園、荒幡農園など ・実施日が雨天の場合は、水族館などに変更
12月	幼児親子お楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・歌や劇ごっこなど、年齢ごとにねらいを持ち表現する。 ・保護者に見守られながら表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会 ・職員による出し物 ・園児、保護者、職員のみで楽しんだ。
	年末こども会	<ul style="list-style-type: none"> ・集会を楽しみ、クリスマスの雰囲気を味わう。 ・会食、おやつを異年齢児と過ごすことで交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会、会食 ・キャンドルサービス ・クリスマスの製作の紹介 ・サンタからお楽しみプレゼント
1月	新年こども会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい年の始まりを祝う。 ・お正月遊びや伝承遊びを知り楽しむ。 ・もちつきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会、獅子舞 ・十二支の由来 ・年長による書き初め ・お正月遊び
2月	節分	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知る。 ・豆まきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節分の由来 ・ゲーム、豆まき

3月	ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りについて知る。 ・お茶会や会食を通じて、異年齢児の交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りの由来 ・集会、ゲーム ・お雛様の製作紹介 ・会食、お茶会
	お別れ遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・春の訪れを感じ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで楽しい思い出を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス年長児との触れ合い遊び ・幼児クラスオリエンテーリング ・行き先は代々木公園などで、雨天の場合は園内に変更
	就学お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児をみんなで祝う。 ・就学に期待を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域、来賓、在園児で就学のお祝い ・年長児の保護者体験給食
	お別れ会	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員とお別れをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員を紹介

※ 上表のほか、敬老の日は在園児から祖父母に敬老カードを送付した。

(2) 小学校との連携について

6園では就学に向けてのオープンスクールに参加したが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、従前より縮小して実施した。神宮前あおぞらこども園は神宮前小学校に4回、本町きらきらこども園は渋谷本町学園小学校に5回、恵比寿のびのびこども園は長谷戸小学校に3回、本町そよかぜこども園は渋谷本町学園小学校に5回、神宮前保育園にじは神宮前小学校に4回、西原保育園ゆめは西原小学校に2回参加した。

<例年実施している主な内容>

テーマ	内容
学校訪問 (全園実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校がどんな場所なのかを実際に見学、探検した。 ・通学路を確認した。
1年生と一緒に学ぶ (全園実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の大きさを体験した。 ・音楽、国語、算数、英語、体育、図工などの授業を見学し参加した。 ・図書室で読書をした。
楽しく英語で遊ぼう (全園実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT（外国語指導助手）とのコミュニケーションを楽しんだ。
体育館で遊ぼう (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな体育館で、運動遊びをした。
プールで遊ぼう (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の大きなプールで安全に泳いだ。
体験給食 (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食の形態や食器の違い、給食時間などを体験した。 ・栄養士の話聞いた。
様々な行事に参加する (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会、学芸会、作品展、パレードを見学した。
放課後クラブ訪問 (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後クラブを体験した。
園訪問 (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園や保育園に小学生が訪問した。 ・小学校の先生より保護者会で就学に向けての説明を受けた。

(3) 地域、高齢者との交流

神宮前あおぞらこども園は、近隣保育園と交流をしたり、地域の協力者により、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行ったり、味噌づくり体験を行った。

本町きらきらこども園は、地域の清掃活動やお祭りへの参加や、近隣の特養との交流、近隣保育園との交流を行った。また、近隣の方を園に招待した。

恵比寿のびのびこども園は、地域の清掃活動やお祭りに参加した。

本町そよかぜこども園は、地域のお祭りへの参加やシニアクラブとの交流、ハロウィンでの交流を行った。近隣保育園との交流も行い、近隣の方を園に招待した。

神宮前保育園にじは、併設している地域交流センターの利用者による人形劇を觀賞したり、絵本の出版社と交流を行った。また、園の地域コーディネーターの協力により、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行ったり、味噌づくり体験を行った。

西原保育園ゆめは、地域の清掃活動や近隣の草むしり、近隣保育園との交流を行った。

(4) こども園・保育園での体育指導、スポーツ指導

ア 株式会社渋谷サービス公社による体育指導

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園、本町そよかぜこども園、及び西原保育園ゆめの5園では、次のとおり実施した。

- ・子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ・子どもの保育にあたる職員が、安全な体育指導の方法を学ぶ。
- ・毎日、短い時間でも体を動かすプログラムを取り入れ、楽しく参加する。

上記3つを目的に、株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に指導を依頼し、全園で毎月1回実施した。

その成果を発表する機会については、1月に2回実施した。

[実施対象]

毎回、4・5歳児、3・4歳児というように2クラスが行い、計216人の園児が参加した。

[令和5年度のねらい]

- ・子どもの運動能力を高める。
- ・体の巧みさが増す幼児期に、専門指導員が指導することにより、運動能力の発達向上を目指し、子ども達の運動欲求を満たす。

月	各月のねらい	内容
4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・マット運動をする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等を楽しく実施する。 ・でんぐりポーズ、前転体操座り等をする。 ・鼻つけ、けりあげ等をする。
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等をする。 ・つばめ、前まわり等をする。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 ・発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・逆上がりを練習する。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。 ・全員1回ずつ発表する。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ等をする。 ・グーグージャンプ、開脚飛び等をする。
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・足抜き回り、つばめ等をする。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁倒立、手押し等をする。 ・指示行動をする。 ・つばめ、逆上がりの練習等をする。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・マット運動をする。 ・ダンスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・指示行動をする。 ・前転、後転をする。 ・音楽発表をする。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリッジ、映像を見て真似る、手押し車等をする。 ・指示行動をする。 ・蹴り上げ練習、補助あり逆上がり等をする。

イ 体力測定

株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に協力を依頼して、各園の園児4歳児、5歳児を中心に2月、3月に体力測定を行った。その結果を活用し、体育指導では体幹を鍛える運動を取り入れるなどして運動能力の発達向上を目指した。

ウ 一般社団法人次世代SMILE協会によるスポーツ指導

神宮前保育園にじの幼児クラスでは、テニス、ラグビー、バレーボール等のスポーツや、ラダー、マット等に取り組むことにより、協会が開発したスポーツ共育プログラムを楽しく体験した。毎回、3・4・5歳児の合同で17人の園児が参加した。

2月、3月は保護者を招き、日頃取り組んでいることを見てもらおう機会を設けた。

月	実施したスポーツ
4月	リズム遊び、ラダー、テニス
5月	果物狩りごっこ、ラダー、テニス
6月	リズム遊び、鉄棒、跳び箱、ラグビー
7月	ラインジャンプ、ラダー、鉄棒、ラグビー
8月	スカーフキャッチ、ラダー、野球

9月	ラインステップ、運動会の練習（鉄棒、縄跳び、テニス、ラグビー）
10月	リズム遊び、ラダー、鉄棒、テニス、ゴルフ
11月	ラダー、鉄棒、ゴルフ
12月	ラダー、ゴムとび、宝石取りゲーム、サッカー
1月	ラインジャンプ、ラダー、マット運動、フープ遊び、サッカー
2月	【5歳児保護者参観】ラダー、スカーフキャッチ、鉄棒、バレーボール
3月	【5歳児保護者参観】ラダー、ラダージャンケン、バレーボール

7 ひろば事業

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園及び本町そよかぜこども園では、一時保育（利用時間は4時間または8時間、1か月に1人10回まで利用可能）及び子育てひろば（体験給食、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談、身体計測など）を行っており、一時保育については、令和5年度よりこれまでの利用方法に加えて、一定の期間、優先して予約ができ利用料も安くなる「定期型一時預かり保育」を開始した。

(1) 一時保育の利用

登録者の利用理由は、例年のとおり「リフレッシュ」「子どもが集団生活に慣れるため」「病院受診のため」が上位を占めており、全体の約72%となっている。

0～2歳児の利用が多く、全体の約93%となっている。全体を見ると4時間利用者が約46%、8時間利用者が約54%となっている。

ア 登録者・利用者

施設		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	4時間利用	8時間利用
あおぞら	登録者	24人	16人	5人	9人	0人	6人	60人		
	従来型	359人	166人	75人	51人	0人	31人	682人	517人	165人
	定期型	0人	115人	147人	0人	0人	0人	262人	186人	76人
きらきら	登録者	27人	13人	9人	2人	0人	1人	52人		
	従来型	282人	239人	124人	6人	0人	4人	655人	210人	445人
	定期型	23人	93人	0人	0人	0人	0人	116人	0人	116人
のびのび	登録者	47人	65人	2人	4人	3人	4人	125人		
	従来型	108人	30人	20人	31人	7人	6人	202人	139人	63人
	定期型	24人	95人	0人	0人	0人	0人	119人	0人	119人
そよかぜ	登録者	28人	23人	5人	1人	0人	1人	58人		
	従来型	106人	435人	166人	41人	17人	5人	770人	281人	489人
	定期型	0人	32人	40人	0人	0人	0人	72人	0人	72人
計	登録者	126人	117人	21人	16人	3人	12人	295人		
	従来型	855人	870人	385人	129人	24人	46人	2,309人	1,147人	1,162人
	定期型	47人	335人	187人	0人	0人	0人	569人	186人	383人

イ 地域別登録者数

神宮前あおぞらこども園は神宮前地域が一番多く、60人のうち19人を占めており、次が千駄ヶ谷地域13人と続いている。

本町きらきらこども園は本町地域が一番多く、52人のうち43人を占めており、次が初台、代々木、笹塚、西原地域の各2人と続いている。

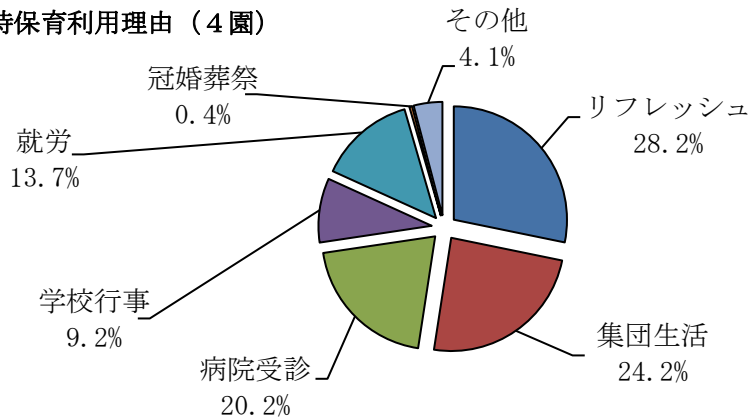
恵比寿のびのびこども園は恵比寿南地域が一番多く、125人のうち30人を占めており、次が恵比寿西地域29人と続いている。

本町そよかぜこども園は本町地域が一番多く、58人のうち39人を占めており、次が幡ヶ谷地域6人と続いている。

ウ 登録者の利用理由（複数回答あり）

理由 施設	リフレッシュ	子どもが 集団生活 に慣れる ため	病院 受診	学校 行事	就労	冠婚 葬祭	その他	合計
あおぞら	37人	21人	27人	17人	23人	0人	4人	129人
きらきら	30人	29人	21人	9人	10人	1人	6人	106人
のびのび	27人	26人	16人	8人	9人	0人	3人	89人
そよかぜ	54人	51人	42人	14人	30人	1人	8人	200人
計	148人	127人	106人	48人	72人	2人	21人	524人

一時保育利用理由（4園）



(2) ひろばの利用

ア ひろば事業内訳

項目 施設	体験給食	見学会	身体計測	ヨガ、体操 ベビーマッ サージ	Eスタート (英語)	自由利用	合計
あおぞら	7人	33人	0人	77人	44人	58人	219人
きらきら	49人	98人	16人	107人	43人	204人	517人
のびのび	16人	118人	16人	149人	98人	118人	515人
そよかぜ	45人	88人	21人	52人	80人	224人	510人
にじ	4人	72人	0人	74人	0人	26人	176人
ゆめ	30人	61人	0人	32人	0人	0人	123人
計	151人	470人	53人	491人	265人	630人	2,060人

※ 上記項目は、子どものみが参加するもののほか、親子で参加するものもあるが、表記は「人」で統一した。

イ 年齢別登録者

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	妊婦	合計
あおぞら	13人	12人	2人	2人	0人	0人	0人	29人
きらきら	52人	20人	15人	1人	2人	0人	5人	95人
のびのび	8人	12人	10人	6人	0人	0人	0人	36人
そよかぜ	16人	83人	19人	0人	1人	0人	0人	119人
にじ	7人	3人	3人	1人	0人	0人	0人	14人
ゆめ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	96人	130人	49人	10人	3人	0人	5人	293人

※ 見学会、行事（夏祭り・運動会）の参加者は登録者に含めない。

8 防災対策・避難訓練実施状況

消防法に基づき消防計画を策定し、防災設備・避難誘導器具等の日常点検の徹底を図った。年間の防災計画に従い避難訓練を毎月1回行うと共に、その計画の中に火災・消火訓練、地震、けがや事故に対応する救急車の要請訓練、不審者訓練、災害訓練、引取り訓練、さらにはJアラート訓練も取り入れて、様々な局面に対応できるよう訓練を行った。また、本町きらきらこども園は冠水の危険性があることから、子ども達が上階に移動する訓練を行った。

	種別	災害想定	実施内容
4月	机上訓練 火災	調理室より出火	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画と防災職員体制を確認した。 避難方法、誘導経路、役割分担を確認した。 防災頭巾、靴、避難用品を点検した。

5月	火災	近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。
6月	地震 火災 不審者	園内 地震火災 安全退避訓練	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生を想定し、園児の安全を確保し、敏速に避難させた。 不審者侵入の際は、できるだけ不安を抱かせないように不審者から遠ざけ、不審者に対応する者は刺激しないようにする訓練をした。
7月	火災	火災 遅番時間帯 事務室	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。 遅番時間帯の火災に対する基本的な動き方を経験した。
8月	地震 火災	関東地方 中震度発生 火災	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、プール遊び中の避難方法を訓練した・水着等の子どもの安全を確保した。 職員同士、声を掛け合って行動する訓練をした。
9月	地震 火災	関東地方 強震度発生 近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 園庭に集まる訓練をした。 第一避難場所まで避難する訓練をした。 引き渡し訓練を行った。
10月	地震 火災	火災総合訓練 通報訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防署員の指導・講評を受けた 災害の怖さを子ども達に教えた。 通報、避難、消火など一連の動きを敏速に行う訓練をした。
11月	地震 火災	散歩先にて地震発生	<ul style="list-style-type: none"> 散歩中に災害が発生し、その場での避難誘導と園への報告を行った。
12月	地震 火災	関東甲信越地方 強震度発生 午睡時	<ul style="list-style-type: none"> 午睡中の園児の安全を確保し、敏速に避難させる訓練をした。
1月	火災 防災	近隣店舗より出火 早朝保育時 Jアラートに対応	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火及び消火の報告の訓練をした。 通報、消火協力の方法を再確認した。 窓の近くから離れ建物の中心に避難し、頭や目を守る訓練をした。
2月	火災	不審者侵入 火災	<ul style="list-style-type: none"> 警察に通報し、安全に避難させる訓練をした。 調理室ごみ置き場より出火した場合の避難訓練をした。 不審者対応確認とさすまたの使い方の指導を受けた。
3月	地震 火災 机上訓練	関東地方 中震度発生	<ul style="list-style-type: none"> 予告なしの総合訓練を行った。 年間反省を行い、次年度の課題を検討した。

※ しぶや保育メール（緊急メール配信システム）登録者状況

神宮前あおぞらこども園は99%、本町きらきらこども園は99%、恵比寿のびのびこども園は94%、本町そよかぜこども園は98%、神宮前保育園にじは100%、西原保育園ゆめは99%と高い登録率となっている。

9 職員研修

(1) 新規採用者に対する取り組み

こども未来課の保育アドバイザーらが企画する採用時総合研修では、新人保育士の心得、0歳児保育、記録の書き方、防災等に関すること、また、普通救急救命講習会

では蘇生法等を学んだ。

また、総合研修の後、3月には配属予定のこども園や保育園において、数日間の実践的な現場研修を実施した。

さらに、配属3か月後には振り返り研修を実施し、保育実践に関する意見交換や情報共有を行った。

(2) 現職員研修の取り組み

質の高い保育教育サービスを提供するために、職員の質の向上、専門技術の習得など様々な研修に参加した。

なお、例年実施している国内視察は応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪れた。

令和6年1月、視察前にオンライン研修を行い、参加者は園での取組みをまとめて発表し合った。また、視察後も参加者による報告会を行った。さらには3月、視察した保育園の園長らを講師として「応答的保育」に関するオンライン研修会を開催した。

研修内容	延べ参加人数	研修機関・講師等
区研修 職層及び職場研修 (コーディネーター研修、ミドルリーダー研修、保護者対応危機管理研修、乳児担当担当研修、幼児担当研修等)	150人	渋谷区子ども家庭部保育課
保育の質の向上、乳児期の対話、虐待の基礎知識等	129人	日本保育者支援協会
職層研修、配慮が必要な子どもの関わり方、ハラスメント研修、わらべ歌等	349人	渋谷区社会福祉事業団
キャリアアップ研修	30人	指定研修期間(法人、学校等)

(3) 各園の職場研修の取り組み

各園での職員構成、保育力及び地域性を踏まえて実施した。

ア 神宮前あおぞらこども園

荒馬踊り、応答的保育を考える、保育環境を考える、ドキュメンテーションを考える、水遊びでの安全指導、嘔吐処理、午睡時の緊急対応

イ 本町きらきらこども園

プール指導と監視、嘔吐処理、応答的保育、人権、心理士による配慮が必要な子どもの対応

ウ 恵比寿のびのびこども園

応答的保育、異年齢保育について、安全な環境について、嘔吐処理、エピペンの使い方

エ 本町そよかぜこども園

応答的保育、異年齢保育、子どもが主体的に遊べる環境、子どもの人権、土粘土によるワークショップ（素材と向き合う）、嘔吐処理、エピペン、光の探究振返り、プール活動における事故防止

オ 神宮前保育園にじ

手作りおもちゃ作り、新園に向けた環境の検討、リズム遊び、スマイルシッПСスポーツの理念と実践

カ 西原保育園ゆめ

環境整備、保育遊び、嘔吐処理、緊急時対応、プール・水遊びの管理、危機管理（ヒヤリハット、事故報告）

キ その他

「虐待の予防チェック表」を作成して全職員で確認を行った。また、「自己評価チェックリスト」を作成し、各自が年3回チェックをして保育の質の向上を目指した。

10 その他の取り組み

(1) 第三者評価の実施

ア 神宮前あおぞらこども園

6月19日	事前打ち合わせ（リモート）
9月 6日	職員説明会及び保護者アンケート配付
11月 6日	訪問調査 保護者 84人中44人回答（回答率：52%） 職員 22人中22人回答（回答率：100%）
3月29日	評価結果報告
4月以降	ホームページ公開

イ 本町そよかぜこども園

6月19日	事前打ち合わせ（リモート）
9月 1日	職員説明会及び保護者アンケート配付
12月11日	訪問調査 保護者 95人中49人回答（回答率：51%） 職員 24人中24人回答（回答率：100%）
3月29日	評価結果報告
4月以降	ホームページ公開予定

(2) 職場体験の実施

小学生、中学生、高校生の体験を次のように受け入れた。

施設	小学生	中学生	高校生	合計
あおぞら	5人	5人	2人	12人
きらきら	0人	2人	2人	4人
のびのび	0人	0人	0人	0人
そよかぜ	0人	6人	0人	6人
にじ	8人	0人	7人	15人
ゆめ	0人	2人	2人	4人
計	13人	15人	13人	41人

(3) 実習生及びインターンシップ受入れ

実習生については、こども教育宝仙大学、東京都市大学、東京学院大学、東京成徳短期大学、東京保育専門学校、日本デザイン福祉専門学校から各1名、計6名を受入れた。なお、インターンシップの受入れはなかった。

(4) 夏体験ボランティア受入れ

例年は中学生や高校生、大学生のボランティアを受入れていたが、コロナ禍以降、今年度も引き続き、受入れはなかった。

(5) 苦情対応について

利用者から寄せられた苦情、意見、指摘を真摯に受け止め、ISO10002:2004に基づいた苦情対応、解決に向けて迅速、誠実、公正に対応を行い、原因を特定し、再発防止策を講じている。

また、各園に「ご意見箱」を玄関に設置し、年度末や保護者会、行事毎にアンケートを実施し、利用者の要望を把握している。各園の苦情については年度毎にホームページで公開している。

(6) 健康教育

全園の幼児クラスでは、毎月の身体計測の際に看護師による健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導、栄養の大切さ、自分の体の仕組み、早寝早起きの励行等について、紙芝居や人形などを使い見て分かるように行っている。毎月、年齢ごとに怪我の内容や感染症の流行なども把握しており、事故予防や安全衛生を心掛けている。

地域包括支援センターの事業報告

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続できるよう、高齢者の生活を支える総合相談窓口である。

事業団は、「あやめの苑・代々木地域包括支援センター」「つばめの里・本町東地域包括支援センター」「笹幡地域包括支援センター」「ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」「豊沢・新橋地域包括支援センター」「富ヶ谷・上原地域包括支援センター」「千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」「恵比寿西二丁目地域包括支援センター」及び「総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」に、今年度新たに「ひがし健康プラザ地域包括支援センター」「かなみの杜・渋谷地域包括支援センター」を加えた11か所全ての地域包括支援センターを渋谷区から受託運営し、地域包括ケアシステムの推進に向け、課題解決に向けて地域との連携強化を図った。

そのうち、あやめ、笹幡、原宿の丘及び豊沢・新橋の4センターは、認知症地域支援推進員を置く機能強化型支援センターであり、圏域における統括・総合調整の機能を担っている。認知症対策としては、渋谷区と共に、第8期計画「しぶや いきいき あんしんプラン」に策定されている新規事業「本人ミーティング」・「認知症検診」・「認知症予防プログラム」を継続実施した。また、「チームオレンジの構築」に向けて、新型コロナウイルス感染拡大で休止されている本人や家族の居場所及び地域ネットワークの拠点としての「認知症カフェ」の関係者と連携を図り、再開させた。

さらに、普及・啓発活動として認知症相談会・認知症サポーター養成講座・フォローアップ研修・認知症フォーラムを実施し、人材の発掘やネットワークの構築に取り組んだ。

また、障がいに関する相談についても、複合化したニーズに対応できるように相談機能の拡充を図った。

1 事業内容

- (1) 介護予防ケアプラン作成及び介護予防事業の紹介
- (2) 高齢者の介護や保健・福祉サービス利用等の総合相談支援
- (3) 虐待に関する相談等の権利擁護事業
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

◆ 地域包括支援センター利用状況（令和6年3月31日現在）

ア 相談件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	596件	714件	784件	776件	822件	803件
恵比寿西	831件	872件	832件	843件	744件	722件
ひがし	772件	782件	875件	928件	1,032件	945件
かんなみ	454件	558件	628件	557件	624件	508件
富ヶ谷・上原	687件	634件	690件	739件	710件	701件
せせらぎ	893件	883件	957件	1,031件	1,109件	721件
あやめ	950件	957件	989件	987件	986件	981件
本町	893件	1,058件	1,176件	1,094件	943件	983件
笹幡	1,327件	1,460件	1,411件	1,311件	1,366件	1,391件
千駄ヶ谷・北参道	586件	575件	576件	685件	615件	667件
原宿	580件	580件	679件	571件	596件	672件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	801件	792件	852件	881件	838件	823件	9,482件
恵比寿西	801件	728件	843件	815件	808件	775件	9,614件
ひがし	1,147件	1,021件	907件	962件	864件	817件	11,052件
かんなみ	576件	567件	520件	559件	412件	477件	6,440件
富ヶ谷・上原	685件	735件	781件	740件	649件	775件	8,526件
せせらぎ	745件	956件	1,044件	865件	935件	923件	11,062件
あやめ	942件	1,007件	980件	1,062件	917件	982件	11,740件
本町	901件	936件	886件	915件	992件	1,021件	11,798件
笹幡	1,399件	1,376件	1,349件	1,444件	1,559件	1,347件	16,740件
千駄ヶ谷・北参道	608件	590件	517件	553件	652件	523件	7,147件
原宿	765件	621件	600件	741件	789件	663件	7,857件

イ 介護予防事業新規契約件数（総合事業含む）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	8件	6件	7件	10件	11件	11件
恵比寿西	2件	7件	6件	7件	3件	5件
ひがし	7件	3件	12件	7件	3件	7件
かんなみ	5件	1件	4件	1件	5件	2件
富ヶ谷・上原	3件	5件	4件	3件	6件	5件
せせらぎ	5件	13件	10件	8件	8件	5件
あやめ	7件	4件	4件	19件	14件	11件
本町	7件	8件	10件	9件	7件	14件
笹幡	9件	14件	11件	10件	11件	12件
千駄ヶ谷・北参道	3件	5件	7件	5件	3件	5件
原宿	0件	3件	4件	5件	3件	2件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	7件	9件	6件	6件	7件	0件	88件
恵比寿西	3件	6件	4件	2件	6件	1件	52件
ひがし	1件	5件	12件	5件	4件	0件	66件
かんなみ	2件	4件	4件	6件	5件	2件	41件
富ヶ谷・上原	6件	1件	6件	3件	6件	5件	53件
せせらぎ	9件	7件	4件	9件	9件	4件	91件
あやめ	15件	9件	6件	1件	7件	8件	105件
本町	10件	8件	9件	3件	8件	10件	103件
笹幡	14件	13件	12件	6件	8件	8件	128件
千駄ヶ谷・北参道	6件	6件	5件	2件	5件	4件	56件
原宿	9件	4件	4件	10件	5件	7件	56件

ウ ケアプラン作成件数

(ア) 介護予防支援（予防給付）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	156件	163件	163件	171件	168件	178件
恵比寿西	91件	92件	94件	94件	90件	94件
ひがし	141件	140件	145件	148件	139件	145件
かんなみ	47件	44件	48件	45件	44件	44件
富ヶ谷・上原	89件	86件	87件	87件	90件	88件
せせらぎ	151件	161件	163件	165件	168件	170件
あやめ	102件	105件	103件	103件	100件	109件
本町	162件	167件	169件	168件	163件	185件
笹幡	186件	189件	196件	190件	195件	200件
千駄ヶ谷・北参道	70件	75件	83件	81件	78件	81件
原宿	93件	94件	91件	93件	92件	89件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	169件	175件	166件	165件	160件	159件	1,993件
恵比寿西	91件	93件	86件	87件	98件	103件	1,113件
ひがし	144件	137件	141件	149件	142件	148件	1,719件
かんなみ	47件	51件	50件	51件	47件	44件	562件
富ヶ谷・上原	93件	98件	95件	93件	95件	95件	1,096件
せせらぎ	171件	170件	165件	171件	162件	168件	1,985件
あやめ	106件	110件	110件	96件	104件	113件	1,261件
本町	171件	166件	162件	163件	164件	175件	2,015件
笹幡	193件	200件	198件	205件	200件	212件	2,364件
千駄ヶ谷・北参道	79件	79件	80件	76件	74件	76件	932件
原宿	94件	91件	90件	90件	88件	96件	1,101件

(イ) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業：総合事業）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	68件	63件	64件	64件	68件	64件
恵比寿西	71件	74件	78件	73件	73件	72件
ひがし	39件	39件	41件	39件	37件	34件
かんなみ	23件	21件	21件	21件	21件	22件
富ヶ谷・上原	78件	81件	80件	75件	73件	75件
せせらぎ	57件	62件	63件	60件	58件	59件
あやめ	85件	86件	84件	82件	82件	84件
本町	91件	86件	88件	85件	80件	81件
笹幡	93件	96件	93件	88件	91件	89件
千駄ヶ谷・北参道	65件	60件	59件	58件	61件	65件
原宿	46件	47件	45件	45件	41件	41件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	63件	62件	63件	62件	63件	69件	773件
恵比寿西	72件	73件	69件	63件	64件	61件	843件
ひがし	36件	37件	35件	30件	32件	31件	430件
かんなみ	22件	19件	24件	23件	26件	25件	268件
富ヶ谷・上原	76件	74件	78件	71件	68件	68件	897件
せせらぎ	61件	66件	65件	64件	69件	66件	750件
あやめ	82件	84件	82件	80件	79件	77件	987件
本町	82件	81件	82件	76件	79件	76件	987件
笹幡	97件	97件	112件	93件	95件	91件	1,135件
千駄ヶ谷・北参道	69件	72件	71件	68件	68件	74件	790件
原宿	43件	43件	41件	47件	42件	45件	526件

2 職員配置（令和6年3月31日現在）

施設	職種	課長	介護支援 専門員	保健師・ 看護師	合計	総合計
豊沢・新橋	正規職員		4人	3人	7人	8人
	非正規職員		1人		1人	
恵比寿西二丁目	正規職員		3人	1人	4人	6人
	非正規職員		2人		2人	
ひがし	正規職員		5人	1人	6人	6人
	非正規職員				0人	
かんなみ	正規職員		3人	1人	4人	4人
	非正規職員				0人	
富ヶ谷・上原	正規職員		4人	1人	5人	5人
	非正規職員					
せせらぎ	正規職員		4人	1人	5人	7人
	非正規職員		2人		2人	
あやめ	正規職員	2人	4人	3人	9人	9人
	非正規職員					
本町	正規職員		5人	1人	6人	6人
	非正規職員				0人	
笹幡	正規職員		6人	1人	7人	8人
	非正規職員		1人		1人	
千駄ヶ谷・北参道	正規職員		3人	1人	4人	4人
	非正規職員				0人	
原宿	正規職員		5人	1人	6人	6人
	非正規職員					
総合計	正規職員	2人	34人	12人	48人	69人
	非正規職員		4人		4人	

※ センター長が課長（介護支援専門員）である施設

あやめ（地域包括ケア担当課長）

※ センター長が介護支援専門員を兼務している施設

豊沢・新橋、恵比寿西二丁目、ひがし、かんなみ、富ヶ谷・上原、せせらぎ、本町、笹幡、千駄ヶ谷・北参道、原宿

※ 課長のうち1人は、包括事務調整担当課長（事務）

※ 正規職員のうち介護支援専門員1人が育休取得中、看護師2人が育休取得中

3 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間以内の勤務とする。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			
介護支援専門員 看護師	平常	8:30	—											17:15								
	遅番A	9:00	—											17:45								
	遅番B	10:15	—											19:00								

※ 事務は、8時30分から17時15分までの勤務のみ。

4 職員研修

地域包括支援センターは、介護支援専門員の資格に関わる専門研修等に参加している。高齢者を支援する上で必要な専門的知識をより深めるため、認知症研修、高齢者虐待防止や在宅医療等の研修、権利擁護に関する研修等に参加し、福祉・保健・医療の連携を図るため、自己研鑽に努めた。

なお、延参加人数は229人、延研修日数は121日である。